

携帯型デジタル簡易無線機

IC-D70 IC-D70BT

この無線機をご使用の際は、総務省総合通信局への無線局の登録申請が必要です。
必ず登録申請をして、登録状が手元に届いてからご使用ください。



Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
本製品は、技術基準適合証明（工事設計認証）を受けた登録局対応の携帯型デジタル簡易無線機です。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

本製品の概要について

- ◎ IP67/IP66/IP55/IP54 (P.iii) の性能に対応できるように設計されています。(バッテリーパック、アンテナ、保護カバー装着時に限る)
 - ◎ サブチャンネルPTT機能(P.6-1)搭載により、チャンネル切り替え操作をしないで、最大3CH間で送受信ができます。
 - ◎ Bluetooth機能(P.7-3)搭載により、VS-3(別売品)などのBluetooth対応機器を使用できます。
 - ◎ 緊急呼び出し機能(P.5-1)に対応しています。
 - ◎ 個別呼び出し機能を使用しない場合、種別コード「3R」の他社製デジタル簡易無線機と通話互換があります。★
- ★ AMBE+2™方式を採用している機種に対応していません。

取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「ご使用になる前に」(別紙)、弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(PDFファイル)で構成されています。

ご使用になる前に(別紙)

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい安全上のご注意や本製品の基本的な操作方法などについて記載しています。

取扱説明書(本書)

各種機能の詳細や使用方法について記載しています。

- ◎ 通話のしかた
- ◎ ユーザーコード(UC)による通話
- ◎ 緊急機能について
- ◎ サブチャンネルPTT機能について
- ◎ そのほかの機能について
- ◎ 別売品について
- ◎ 保守について

取扱説明書の内容について

本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。

一般的なご使用を想定した内容にしていますので、ご使用になる機能や操作について詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

付属品について

- ◎ アンテナ 1
- ◎ ハンドストラップ 1
- ◎ ご使用になる前に
- ◎ 保証書
- ※ 充電器(P.9-4~P.9-7)、およびバッテリーパックは、別売品です。

チャンネルについて

- ◎ CH1 ~ CH14、CH16 ~ CH30 :通話用チャンネル
 - ◎ CH15(呼出CH)*¹ :呼出用チャンネル
 - ◎ CHS1 ~ CHS5*² :上空用チャンネル
- ★1 一時的な呼び出しをするとき使用します。(P.3-1)
多くの局が呼出用チャンネルを使用しますので、呼び出し後の通話は、空いている通話チャンネルに切り替えてから通話をつづけてください。
- ★2 上空用チャンネルでは送信できません。
メモリーチャンネルに上空用チャンネルを設定する場合は、販売店にご依頼ください。

使用後はリサイクルへ



この製品は、充電式電池使用機器です。希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRCのホームページでご確認ください。
JBRCホームページ <http://www.jbrc.com/>

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。AMBE+2は、Digital Voice Systems, Inc.の商標です。Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。本書の内容の一部、または全部を無断で複製/転用することは、禁止されています。

はじめに

電波法上のご注意

- ◎本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
- ◎本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。そのため、ご使用いただけるアンテナは、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたものに限定されます。
付属品、または別売品アンテナを加工して使用したり、弊社指定以外のアンテナを使用したりすると、電波法違反で罰せられる場合がありますので、ご注意ください。
- ◎他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを盗用することは、かたく禁じられています。
- ◎登録局の有効期間は、登録日から数えて5年間です。
再登録の申請は、有効期間満了の3ヵ月前から1ヵ月前のあいだに手続きをしてください。
- ◎本製品は、日本国内における陸上、および日本周辺海域で運用する無線機です。
上空での運用はできませんのでご注意ください。
無線局登録状の範囲を超えた運用は、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられることとなります。

防塵/防水性能について

バッテリーパックとアンテナ、保護カバーを正しく取り付けられた状態で、IP67/IP66/IP55/IP54の防塵/防水性能があります。

次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を保証できませんので、ご注意ください。

- ◎水深1m以上、または30分以上水中に放置したとき
- ◎雨の中や、水滴が付着、またはぬれた手でバッテリーパックやアンテナ、防水形スピーカーマイクロホンをつけたり、はずしたりしたとき
- ◎海水や砂、泥、洗浄液(洗剤)等が無線機に付着したまま放置したとき
- ◎落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- ◎長時間、高い水圧をかけたとき
- ◎無線機本体とバッテリーパック端子間の腐食による故障、または損傷があるとき
- ◎-20℃～+60℃以外の環境で使用したとき
- ◎薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置したとき
- ◎本製品を分解、または改造したとき
- ◎無線機本体とバッテリーパック、アンテナ、別売品を接続するコネクター間に微細なゴミ(糸くず、毛髪、砂など)が挟まっているとき

別売品の使用による防塵/防水性能について

バッテリーパック(BP-290/BP-294)、アンテナ(FA-S05U/FA-S06U/FA-S07U)、防水形スピーカーマイクロホン(HM-172)を無線機本体に装着することで、IP67の防塵/防水性能になります。

※上記以外の別売品を使用したときは、別売品を含めた防塵/防水性能の低いものに制限されます。

※別売品(P.9-1～P.9-3)のご使用は、防塵/防水性能をご確認の上、ご使用ください。

IP表記について

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。

IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。

また、保護等級を規定しない場合は、その等級の表記に該当する数字の部分に「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

- IP5X(防塵形) : 試験用粉塵を1m³あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること
- IP6X(耐塵形) : 試験用粉塵を1m³あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機の内部に粉塵の侵入がないこと
- IPX4(防まつ形) : いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと
- IPX5(防噴流形) : 注水ノズル(内径6.3mm)をすべての方向に使用して、3mの距離から、1分間1m²あたり約12.5リットルの水を3分以上注水後、無線機として正常に機能すること
- IPX6(耐水形) : 注水ノズル(内径12.5mm)をすべての方向に使用して、3mの距離から、1分間1m²あたり約100リットルの水を3分以上注水後、無線機として正常に機能すること
- IPX7(防浸形) : 水深1mの静水(常温の水道水)に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること

はじめに

海水が付着したときは？

海水が無線機に付着したときは、すぐに洗い流し、水分をふき取って十分に乾燥させてからご使用ください。

海水が付着したまま放置したり、使用したりすると、故障の原因になります。

※バッテリーパック、アンテナ、保護カバーを無線機に正しく取り付けられた状態で洗浄してください。

※常温の真水でやさしく洗い流してください。

※ブラシなどを使用せず、手で洗い流してください。

ご注意

次の場合は防水性能を維持できませんので、弊社サポートセンターにご相談ください。

◎無線機本体、コネクタの保護カバーが破損している場合

◎落下などの強い衝撃を無線機に与えた場合

電波干渉についてのご注意

2.4GHz帯のBluetoothで通信するときは、次のことに注意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

◎この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。

◎万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止(Bluetooth接続の切断)してください。

※Bluetooth接続を切断するときは、設定モードから「Bluetooth」を「OFF」に設定してください。(P.8-5)

◎その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター

0120-156-313(フリーダイヤル)

◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、

06-6792-4949(通話料がかかります)

受付(平日 9:00~17:00)

2.4GHz現品表示記号の意味について

「2.4」：2.4GHz帯を使用する無線設備

2.4FH1

「FH」：FHSS方式

「1」：想定干渉距離が10m以下

「---」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避不可

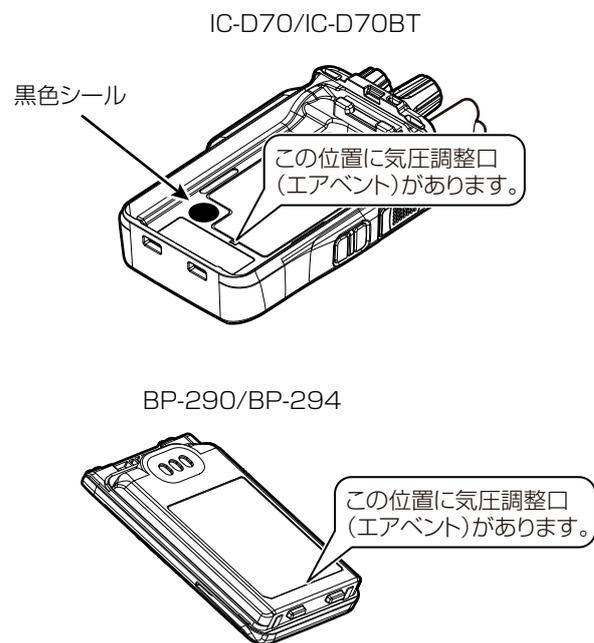
気圧調整口(エアイベント)について

下図の位置に気圧調整口(エアイベント)があり、この下にある空気を通す素材のシートによって、気圧を調整しています。

※ほかのシールを貼るなどしてふさぐと、気圧調整ができなくなり、運用してしばらくすると、内蔵スピーカーからの音量が小さくなる現象が発生することがあります。

また、防水性能が維持できなくなる場合があります。

※黒色シールに傷がつくと、防水性能が維持できなくなる場合があります。



はじめに

取り扱い上のご注意

- ◎アンテナを持って本製品を持ち運んだり、振り回したりしないでください。
- ◎本製品を極端に寒い場所から持ち運んだ場合は、結露する可能性があります。
結露した場合は、自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
- ◎雨の中や、水滴が付着、またはぬれた手のままでバッテリーパックや防水形スピーカーマイクロホン、アンテナを付けたり、はずしたりしないでください。
- ◎無線機本体やバッテリーパックと充電器の各端子(充電端子、および電源ジャック)、アルカリ電池ケースの電池端子にゴミやホコリが付着すると、正常に使用できないことがありますので、各端子を定期的にふいでください。
- ◎磁気カードを無線機に近づけないでください。
磁気カードの内容が消去されることがあります。
- ◎バッテリーパックをお買い上げいただいたときや、2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してください。
- ◎本製品の故障、誤動作、不具合などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

音声圧縮(符号化)方式について

本製品は、米国DVS社の開発したAMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式を採用しており、AMBE+2™方式に対応しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form U.S. Patent Nos. #8,595,002, #8,359,197, #8,315,860, #8,200,497, #7,970,606 and #6,912,495 B2.

電磁ノイズについて

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

【インバーター回路内蔵のおもな電子機器】

- ◎LED照明器具 ◎電磁調理器 ◎給湯器
- ◎自動車に搭載された電子機器 ◎太陽光発電装置

自動車運転時のご注意

- ◎安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。
- ◎無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。
- ◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。
一部の都道府県では、走行中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。
- ◎安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で運転しないでください。

GPSに関する注意事項

GPS(Global Positioning System)は、米国が開発、および運用管理をしています。

同国の政策上、予告なしに測位精度の悪化、GPS衛星の調整、試験、および軌道修正などで、いくつかの衛星信号が発信停止する場合や、メンテナンスなどで衛星から異常電波が発信される場合があります。

このような場合、誤作動したり、測位精度が著しく悪化したりする場合があります。

下記の注意事項を十分配慮して、GPSをお使いください。

測位精度に関する注意事項

受信衛星の配置や電磁障害、受信信号のマルチパスなどの影響により、測位精度が著しく悪化した状態(位置飛びなど)が発生する場合がありますので、ご注意ください。

装備に関する注意事項

本製品は、ノイズを発生する回路や機器からなるべくはなしてください。

GPS信号の周波数帯(1.575GHz付近)や、その整数分の1となる周波数の高調波が、受信や測位に影響を与える場合があります。

もくじ

はじめに	ii	■ バッテリーチェック機能	7-6
本製品の概要について	ii	■ バッテリーインフォモード	7-7
取扱説明書の構成について	ii	■ 設定が必要な機能について	7-8
取扱説明書の内容について	ii	8. 各種機能の設定	8-1
付属品について	ii	■ 設定項目一覧	8-1
チャンネルについて	ii	■ 設定モードに移行するには	8-2
登録商標/著作権について	ii	■ 設定のしかた	8-2
電波法上のご注意	iii	■ 設定項目について	8-3
防塵/防水性能について	iii	9. 別売品について	9-1
別売品の使用による防塵/防水性能について	iii	■ 別売品一覧表	9-1
IP表記について	iii	■ バッテリーパック使用時の使用時間と 充電時間	9-3
海水が付着したときは？	iv	■ BC-227(急速充電器)：充電のしかた	9-4
電波干渉についてのご注意	iv	■ BC-225(インテリジェントチャージャー) ：充電のしかた	9-5
2.4GHz現品表示記号の意味について	iv	■ BC-226(急速充電器)：充電のしかた	9-6
気圧調整口(エアイベント)について	iv	■ BC-226の連結充電について	9-6
取り扱い上のご注意	v	■ BC-214(6連急速充電器)：充電のしかた	9-7
音声圧縮(符号化)方式について	v	■ MBB-4(ベルトクリップ)	9-7
電磁ノイズについて	v	■ AD-52(イヤホンジャックアダプター)	9-7
自動車運転時のご注意	v	■ HM-109/HM-163A (接話タイピン型マイクロホン)	9-8
GPSに関する注意事項	v	■ OPC-636/OPC-637 (マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル)	9-8
1. ご使用前の準備	1-1	■ EH-12(ヘルメット取り付け型スピーカー)	9-8
■ アンテナ/ハンドストラップの取り付け	1-1	■ HS-92(ヘルメット取り付け型ヘッドセット) とEH-11(イヤークリップ型スピーカー)の 組み立て	9-8
■ ベルトクリップの取り付け	1-1	■ HM-238(サブチャンネルPTT機能対応 タイピン型マイクロホン)	9-9
■ スピーカーマイクロホンなどの接続	1-1	■ BP-291(アルカリ乾電池ケース)	9-10
■ バッテリーパックの取り付け/取りはずし	1-1	◇ アルカリ乾電池の入れかた	9-10
■ 電源の入れかたと音量調整について	1-2	◇ アルカリ乾電池ケースを正しくご使用 いただくために	9-10
2. 各部の名称と機能	2-1	■ アルカリ乾電池ケース使用時の使用時間	9-11
■ 前面部	2-1	10. 保守について	10-1
■ 表示部	2-2	■ 日常の保守と点検について	10-1
3. 通話のしかた	3-1	■ 防塵/防水性能維持の定期点検と 保守について	10-1
■ 呼び出しを受けたときの表示	3-3	■ 故障かな?と思ったら	10-1
■ 通話するときのアドバイス	3-4	■ アフターサービスについて	10-2
4. ユーザーコード(UC)による通話	4-1	■ 従来製品との相互使用について	10-2
5. 緊急機能について	5-1		
■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)	5-1		
■ マンダウン機能	5-3		
■ ローンワーカー機能	5-3		
6. サブチャンネルPTT機能について	6-1		
■ サブチャンネルPTT機能とは	6-1		
■ サブチャンネルPTT機能を設定する	6-1		
■ サブチャンネルで送信する	6-3		
■ サブチャンネルで個別呼び出しをする	6-4		
■ サブチャンネルで受信する	6-4		
7. そのほかの機能について	7-1		
■ ロック機能	7-1		
■ 送信出力の切り替え	7-1		
■ GPS機能	7-2		
■ Bluetooth機能	7-3		
■ ペ어링のしかた	7-3		
■ 充電モード	7-5		
■ バッテリー内部温度警告機能	7-6		

1

ご使用前の準備

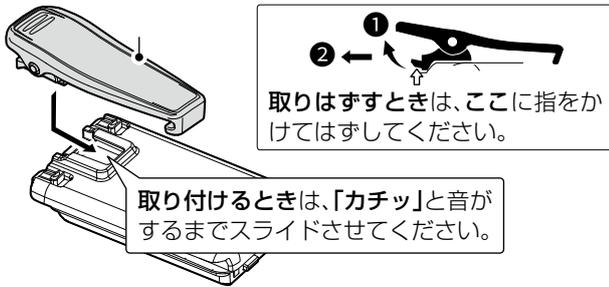
■ アンテナ/ハンドストラップの取り付け

下図のように、付属品を取り付けます。



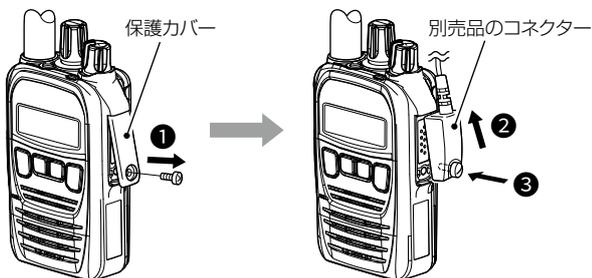
■ ベルトクリップの取り付け

下図のように、別売品のベルトクリップを取り付けます。バッテリーパック単体の状態で、ベルトクリップを着脱してください。



■ スピーカー/マイクロホンなどの接続

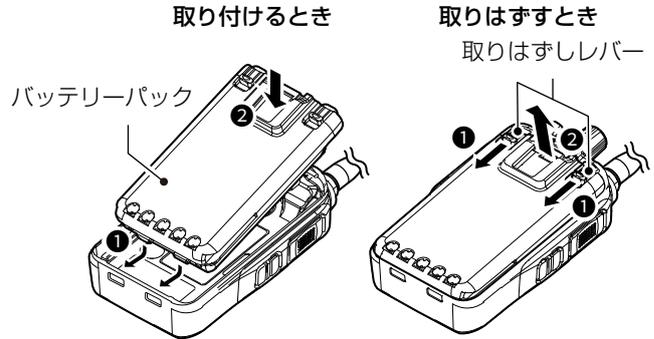
スピーカー/マイクロホンやヘッドセットなどを接続するときは、無線機の電源を切ってから、図のように保護カバーを取りはずし、別売品のコネクタを接続してください。



※ 防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを取り付けてご使用ください。

■ バッテリーパックの取り付け/取りはずし

本体の電源を切った状態で、バッテリーパックを着脱してください。



△ 警告

本製品やバッテリーパックがぬれたり汚れたりした状態で、充電しないでください。

本製品やバッテリーパック、または充電器の各端子がサビるなどして、故障の原因になります。

※ 充電方法については、9-4ページ～9-7ページをご覧ください。

△ 注意

しばらく使用しないときは、バッテリーパックを本製品から必ず取りはずしてください。

本製品の電源を切った状態でも、常に微少の電流が流れていますので、電池が消耗する原因になります。

1 ご使用前の準備

■電源の入れかたと音量調整について

1 電源を入れる

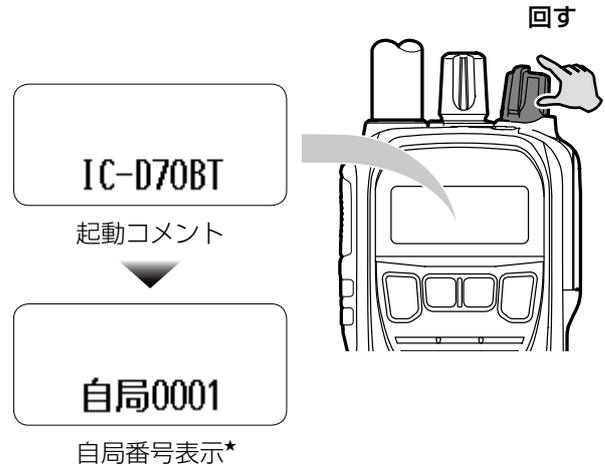
電源/音量ツマミを時計回りに回して電源を入れます。

※電源/音量ツマミを逆方向に「カチッ」と鳴るまで回すと、電源が切れます。

※防塵/防水対応により、簡単に回らない構造になっています。

※表示部とスイッチ(前面部)の照明は、[PTT]以外の操作をしたとき、約5秒点灯します。

★個別呼び出し機能が設定されているとき、自局番号が表示されます。



2 音量を調整する

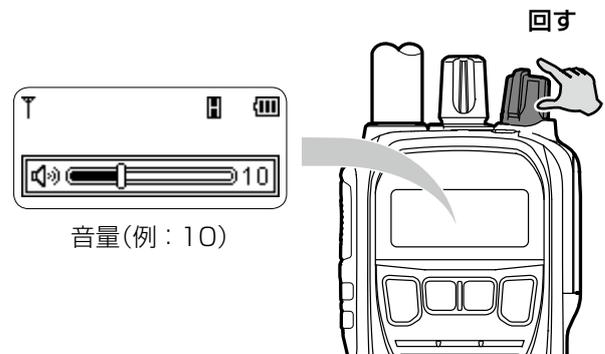
電波を受信中に、電源/音量ツマミを回して聞きやすい音量に調整します。

ご参考

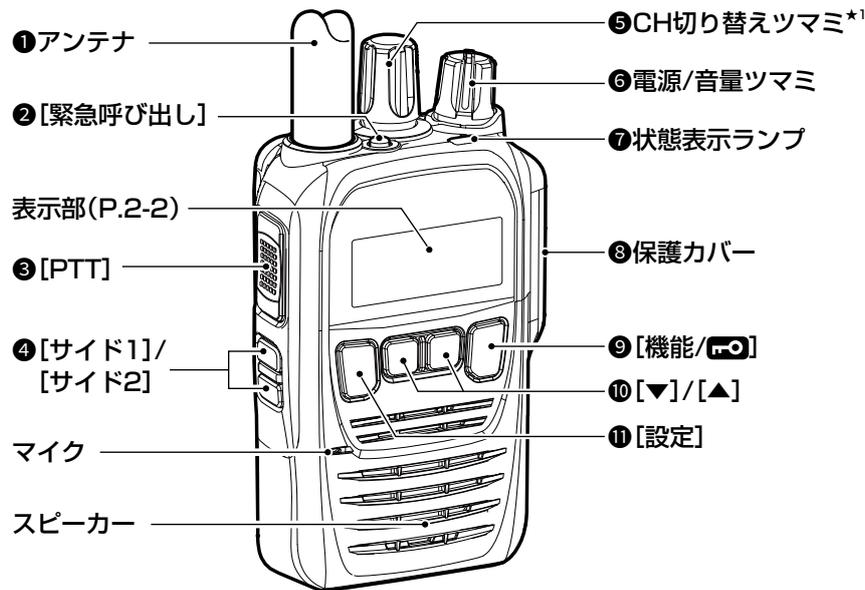
[サイド1]、または[サイド2]にモニター機能が設定されている場合、「ザー」という音を聞きながら、音量を調整できます。

※「ザー」と音が出ない場合は、モニター機能が設定されていません。

モニター機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



■ 前面部

**① アンテナ**

電波を発射、または受信する部分です。

② [緊急呼び出し]

短く押すと、プライベートチャンネルに切り替わります。長く(約5秒)押すと、緊急呼び出し機能(P.5-1)が動作します。

※長押し時間は、設定によって異なります。

※初期設定時や全設定初期化時は、プライベートチャンネル機能、緊急呼び出し機能が使用できません。

③ [PTT]

押し続けているあいだは送信状態、はなすと待ち受け状態に切り替わります。

④ [サイド1]/[サイド2]

任意の機能を割り当てる、またはサブチャンネルのPTTスイッチ(P.6-1)として使用できます。

※機能の割り当ては、お買い上げの販売店にご依頼ください。

⑤ CH切り替えツマミ

[▼]/[▲]と同じ動作をします。

⑥ 電源/音量ツマミ

電源の「ON」/「OFF」と音量の調整をします。

⑦ 状態表示ランプ

[PTT]を押しているあいだ(送信中)は赤色、電波を受信しているあいだは緑色に点灯します。

★1 CH切り替えツマミと[▼]/[▲]は同じ動作をします。

本書では[▼]/[▲]を使用して説明しています。

★2 個別呼び出し機能が設定されているとき、表示されます。

個別呼び出し機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

⑧ 保護カバー

別売品のヘッドセットなどを接続するときは、保護カバーをはずして接続してください。(P.1-1)

※防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを取り付けてご使用ください。

⑨ [機能/ROF]

◎短く押すごとに、ユーザーコード表示、個別呼び出し表示*²などに切り替わります。

◎長く(約1秒)押すごとに、ロック機能を「ON」/「OFF」できます。

⑩ [▼]/[▲]

メモリーチャンネルの変更や、設定値の切り替えをします。

⑪ [設定]

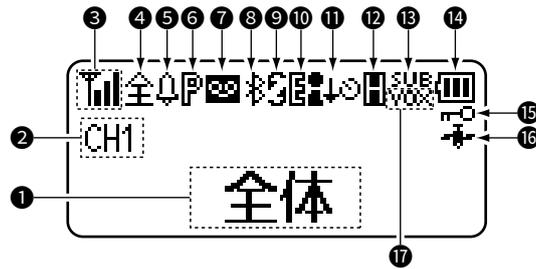
◎個別呼び出し機能(P.3-1)設定時、短く押すごとに、相手局番号(全体/基地/個別/グループ)を選択できます。

◎長く(約1秒)押すごとに、送信出力が切り替わります。

※送信出力切り替え機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

2 各部の名称と機能

■ 表示部



① [相手局番号]/[設定内容]表示

音量、メモリーチャンネル、ユーザーコード、設定モードで選択した設定項目や設定内容などが表示されます。

② ガイドメッセージ表示

メモリーチャンネル、または着信などの状態が表示されます。

③ 電波状態表示

受信している電波の強さ(目安)が4段階で表示されます。

★1 待ち受け時や送信時、受信電波の強さが著しく弱いときの表示です。



④ 呼び出しモード表示

呼び出しをしたとき、または呼び出しを受けたときの呼び出しモードが表示されます。

個：個別

全：全体

基：基地局

グ：グループ

☒：グループメンバーに設定されているグループ番号

⑤ ベル表示

通話相手から個別呼び出し(着信)を受けたとき点滅します。ポケットビープ機能*2設定中は点灯します。

⑥ Pベル機能表示

Pベル機能*2が設定されているとき、表示されます。

⑦ 録音機能表示

録音データ状態、録音動作状態が表示されます。

📄：録音データあり

🎧：録音中

🔴：録音一時停止

⑧ Bluetooth機能表示 IC-D70BT限定

📶：Bluetooth機能が「ON」

📶：Bluetooth機器と接続中

⑨ 秘話表示

秘話機能*2が設定されているとき、表示されます。

⑩ 緊急呼び出し(エマージェンシー)表示

緊急呼び出し機能(P.5-1)が設定されているとき、表示されます。

⑪ マンダウン機能/ローンワーカー機能表示

📶：マンダウン機能(P.5-3)が「ON」

📶：ローンワーカー機能(P.5-3)が「ON」

📶：上記の機能が両方とも「ON」

⑫ 送信出力表示

送信出力設定が表示されます。

※無線機の温度が高温になっている場合、無線機を保護するために、送信出力が自動的に低下します。

そのとき、送信出力表示は点滅します。

📶：ハイパワー(5W)選択時

📶：ローパワー(1W)選択時

📶：受信専用チャンネル選択時、または充電中

⑬ スキャン表示

実行しているスキャンの種類が表示されます。

PRI：プライベートチャンネルスキャン

MC：メモリーチャンネルスキャン

SUB：サブチャンネルスキャン

AT：自動チャンネル切替機能*2

⑭ (電池残量)表示

電池残量が4段階で表示されます。



⑮ ロック機能表示

ロック機能が動作中のとき、表示されます。

⑯ ネクスト表示/GPS表示

📶：文字が入りきらない場合に表示されるアイコン

※入りきらない文字は、[サイド2]で表示できます。

📶：GPS機能が「ON」、または「マニュアル」

⑰ VOX機能表示

VOX機能*2が「内部」、または「Bluetooth」に設定されているとき、表示されます。

★2 機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

個別呼び出し機能の設定によって、操作が異なります。

※ 個別呼び出し機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

個別呼び出し機能:「OFF」の場合

相手と同じメモリーチャンネルに合わせてから、送信します。

※ 全体/基地/個別/グループ番号の選択はできません。

個別呼び出し機能:「ON」の場合

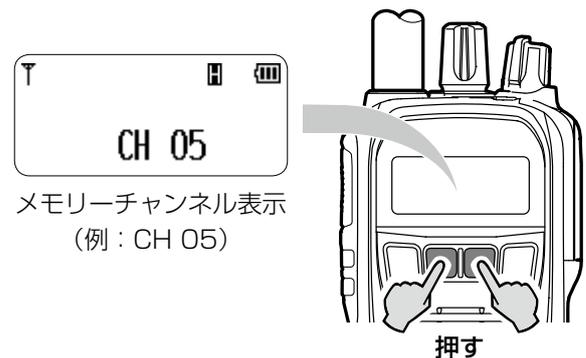
1. 相手と同じメモリーチャンネルに合わせます。
2. 呼び出す相手(全体/基地/個別/グループ番号)を選択後、送信します。

1 メモリーチャンネルを合わせる

[▼]/[▲]を押して、相手と同じメモリーチャンネル(例: CH 05)に合わせます。

※ メモリーチャンネルが表示されていないときは、
[機能/]を繰り返し押して、メモリーチャンネル表示に切り替えます。

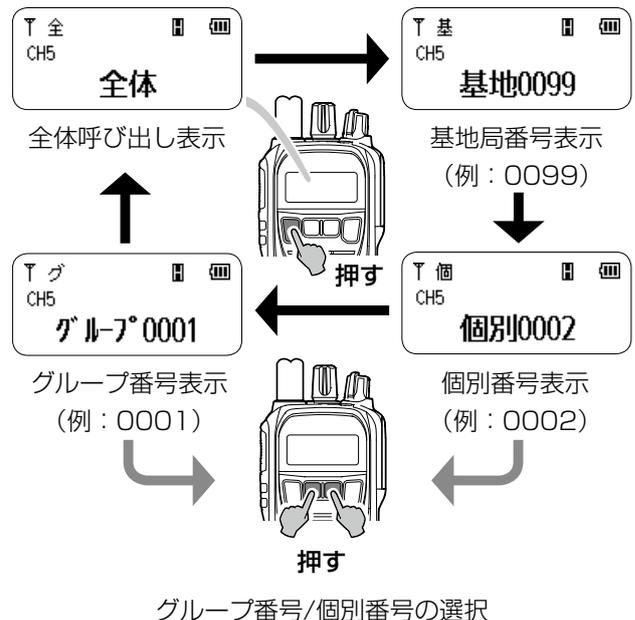
※ メモリーチャンネルが決まっていない場合は、「呼出CH」(CH15)に合わせます。



2 全体/基地/個別/グループ番号の選択

1. [設定]を繰り返し押して、呼び出す相手を選択します。
2. [▼]/[▲]を押して、相手の個別番号、または所属するグループ番号を選択します。

※ 「呼出CH」(CH15)に合わせている場合は、呼び出す相手を選択できません。



番号表示の代わりに名称を表示させるには

メモリーチャンネル、自局番号、相手の個別番号の代わりに、右図のような名称表示でご使用になる場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



「呼出CH」(CH15)について CH5の漢字表示例
一時的な呼び出しにだけ使用しますので、呼び出した相手と通話をつづける場合は、空いているメモリーチャンネルに変更してから通話してください。

※ グループ通話、秘話機能、個別呼び出し機能による通話には使用できません。

サブチャンネルスキャン中の操作について

サブチャンネルPTT機能が設定されている場合、サブチャンネルをスキャンしている間(「SUB」点灯)は、メモリーチャンネルの切り替えができません。
表示中のメモリーチャンネルを変更する場合は、サブチャンネルのスキャンを一時停止(「SUB」点滅)してください。(P.6-3)

3 通話のしかた

3 呼び出しをする(送信する)

他局が通信していないこと(状態表示ランプ：消灯)を確認後、[PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT]を押しているあいだ、状態表示ランプが赤色に点灯します。

グループ呼び出しのご注意

相手と同じグループ番号でも、相手の無線機に、**☒**表示されていないときは、グループ呼び出しをしても、その相手には、自分の音声が届きません。
※お買い上げの販売店で、相手側の無線機のグループ番号にメンバー指定**☒**が必要です。



【個別呼び出し後、相手局から応答がないときは】

相手が無線機からはなれている場合や、電波を受信できない場所に移動したなどの理由で応答がないときは、表示が点滅から点灯に切り替わってから、再度、[PTT]を押すと、繰り返し呼び出しできます。



呼び出し後、応答を待っている状態

【相手局が通信圏内かどうかを確認するには】

個別呼び出し機能で通話する双方の無線機にアンサーバック機能がお買い上げの販売店で設定されているとき、下記の操作で確認できます。

個別、または基地局呼び出しする相手局番号を選択して、待ち受け状態で[PTT]を短く押します。

- 相手局が通話圏内にいる場合、「ピッ」と鳴り、ランプが1回点滅(緑色)します。通話圏外など、相手に電波が届かない場合は、終話して、操作前の表示に戻ります。

マイクの使いかた

マイクに向かって話すときは、マイクと口元を約5cmはなし、普通に会話する大きさの声で通話してください。マイクを口元に近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、めいりょう度が悪くなる場合がありますのでご注意ください。

通話する場所について

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなる場合があります。

そのときは、場所を少し移動して通話してください。

また、テレビやラジオなどの家電製品や、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれてご使用ください。

正しい通話方法について

次の要領で通話をしてください。

用件は簡潔に話し、長い通話はさけてください。

【呼び出しをするとき】	【応答をするとき】
「相手局の呼び出し名称」	3回以下
「こちらは」	1回
「自局の呼び出し名称」	1回
「どうぞ」	1回

3 通話のしかた

4 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、ランプが緑色に点灯します。



【応答するときは】

待ち受け状態(ランプ：消灯)になってから、[PTT]を押します。

■呼び出しを受けたときの表示

個別呼び出し機能:「OFF」の場合

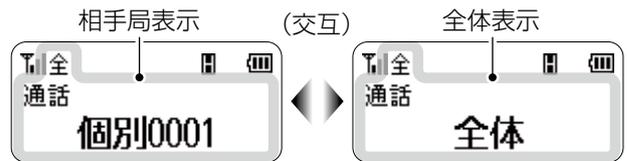
選択しているメモリーチャンネルの電波を受信したときの表示です。



受信中の表示例

個別呼び出し機能:「ON」の場合

◎全体呼び出しを受けると、相手局番号(例：0001)と全体が交互に表示されます。



全体呼び出しを受けたときの表示例

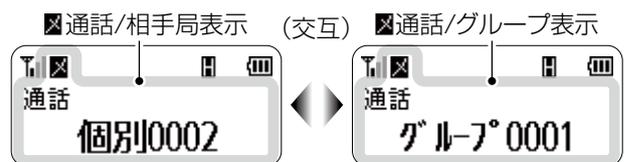
◎個別呼び出しを受けて着信すると、相手局番号(例：0002)が点滅します。

※相手が基地局の場合は、基地局番号(例：0099)を意味します。



個別呼び出しを受けたときの表示例

◎グループ呼び出しを受けて着信すると、相手局番号(例：0002)とグループ番号(例：0001)が交互に表示されます。



グループ呼び出しを受けたときの表示例

1 通話のしかた

■ 通話するときのアドバイス

送信時間制限装置について

1回の送信で連続して通話できる時間は、「5分以内」と電波法で定められています。

制限時間の10秒前になると、「ピッ」と鳴ります。

連続通話時間が5分になると、警告音が「ブッ」と鳴って、自動的に送信を停止します。

※送信を自動停止すると、1分間は通話できません。

通話を再開する場合は、1分後に[PTT]を押してください。

混信防止(キャリアセンス)機能について

無線局の運用では、同じ通話チャンネルで自分が送信中のときにほかの人が送信すると混信を受け通話ができない場合があります。

また、逆にほかの人が通話中のチャンネルで送信すると、その通話を妨害することになります。

このような混信を防止するために、同じチャンネルで一定レベルの電波を本製品が受信している場合は、通話中とみなし、送信できないよう、自動的に制御する機能をキャリアセンスといいます。

キャリアセンスは、本製品が送信を開始するときに動作します。

3秒以上通話が途切れた場合、本製品が通話を終了したと判断し、次の送信開始時からキャリアセンスの機能が動作します。

なお、ほかの電子機器からの電波を受信した場合(混信や妨害波を含む)についてもキャリアセンスが動作し送信できないことがありますが、故障ではありません。

本製品は、電波法によりこのキャリアセンスの搭載が義務付けられています。

電波干渉について

比較的せまいエリアで、多くの局が通話するような状態では、電波の干渉(相互変調)による混信が発生することがあります。

このような混信は、グループごとにメモリーチャンネルの組み合わせを適切に設定することで防止できます。

通話範囲について

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなる場合があります。

◇通話範囲は、周囲の建物などの状況により異なりますので、下記の数値を目安に通話してください。

(送信出力：5W)

見通しのよい場所：約4km

市街地や建物内：約0.5～1km

◇通話範囲であっても、山や建物などが障害物となって、通話しにくくなる場合があります。

そのときは、場所を少し移動して通話してください。

また、テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれてご使用ください。

4 ユーザーコード(UC)による通話

複数の通話相手と同じユーザーコード(UC)を設定するだけで、簡易的な通話グループが構成できます。

ほかの人の音声聞こえなくして、特定の相手の音声だけを聞くときに使用します。

※メモリーチャンネルとユーザーコードが一致したすべての相手と通話できます。

※秘話機能*や個別呼び出し機能*(P.3-1)と併用できます。

★機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

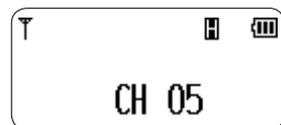
【使用例】



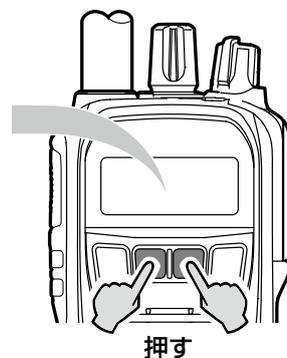
1 メモリーチャンネルを合わせる

[▼]/[▲]を押して、相手と同じメモリーチャンネル(例: CH 05)に合わせます。

※メモリーチャンネルが表示されていないときは、
[機能/🔊]を繰り返し押して、メモリーチャンネル表示に切り替えてください。



メモリーチャンネル表示
(例: CH 05)



押す

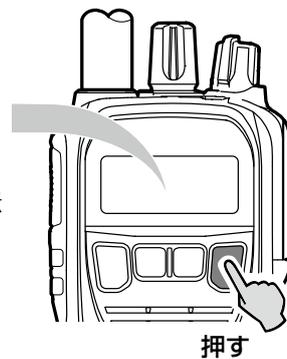
2 UC(ユーザーコード)表示にする

[機能/🔊]を押して、「UC-OFF」(初期設定時)表示に切り替えます。

※何も操作していない状態で約10秒経過すると、メモリーチャンネル表示に戻ります。



UC(ユーザーコード)表示
(例: OFF)



押す

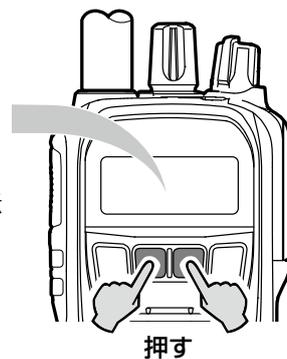
3 ユーザーコードを設定する

[▼]/[▲]を押して、相手と同じユーザーコード(例: 001)を設定します。

※設定範囲は、「001～511」、「OFF」です。



UC(ユーザーコード)表示
(例: 001)



押す

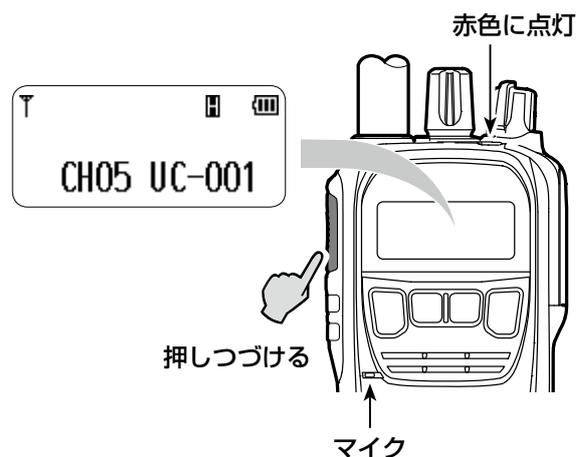
4 ユーザーコード (UC) による通話

4 自分の音声を送信する

[PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT]を押しているあいだは、送信状態になり、状態表示ランプが赤色に点灯します。

※設定したユーザーコードは、メモリーチャンネル(例：CH05)の右側に表示(例：UC-001)されます。



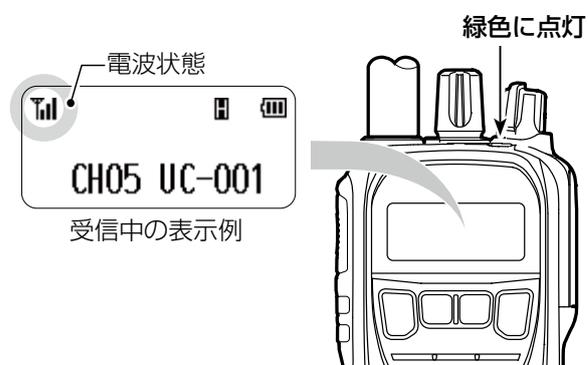
5 相手の音声を受信する

[PTT]をはなすと待ち受け状態になり、自分と同じメモリーチャンネルとユーザーコードで通話する相手局の音声を受信できます。

受信中は、状態表示ランプが緑色に点灯し、電波状態が表示されます。

待ち受け状態のときは、状態表示ランプが消灯しています。

※ユーザーコードが異なる他局の電波を受信しているときも、状態表示ランプが緑色に点灯し、電波状態が表示されます。



■緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

迅速な連絡が必要な場合、メモリーチャンネルが一致する局に緊急信号を送出して、相手に警告音で通知します。

※緊急呼び出し機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

△警告

緊急呼び出し機能(エマージェンシー)は、大きな音量の警告音が連続で鳴ります。

本製品にヘッドセットやイヤホンを取り付けて、緊急呼び出し機能を有効に設定する場合は、警告音の音量が電源/音量ツマミでの音量調整と連動するように設定されることをおすすめします。

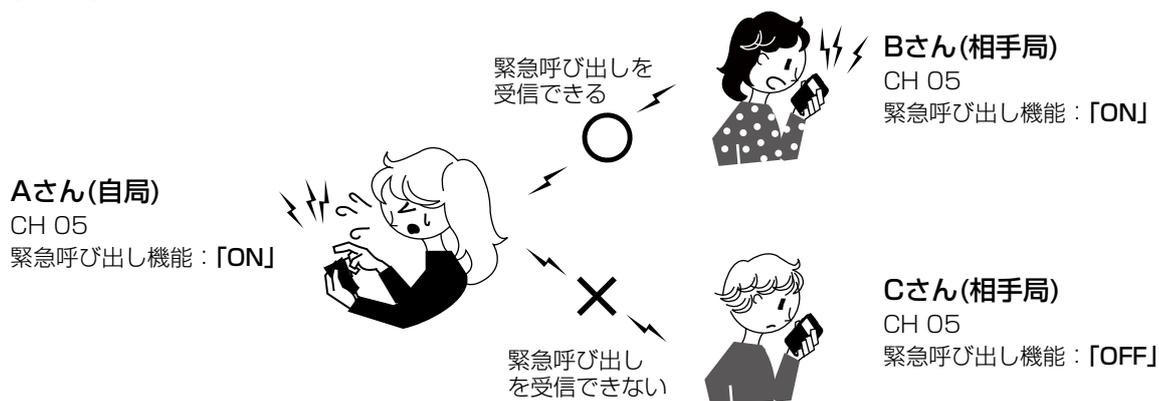
音量の設定は、販売店にご依頼ください。

【緊急呼び出し機能を正しく使用するには】

お買い上げの販売店で、送信側と受信側の緊急呼び出し機能を「ON」に設定してください。

「OFF」に設定されている場合や、緊急呼び出しができないように設定されたメモリーチャンネルでは、[緊急呼び出し]を押しつづけても送信しません。

【使用例】



※緊急呼び出しをしているあいだ、および緊急呼び出しを受けているあいだは、音量調整、および電源を切る以外の操作ができません。

※混信防止(キャリアセンス)機能により、緊急呼び出し機能による送信が制限されることがあります。

下記のような場合、通知できなかつたり、通知できても警告音が鳴らなかつたりすることがあります。

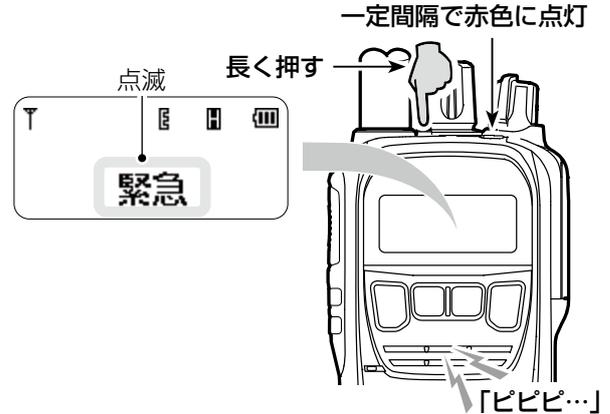
- ◎警告音が音量調整と連動して変化するように設定されている場合
- ◎警告音を鳴らさない設定がされている場合
- ◎動作中、電池の消耗により自動的に電源が切れた場合
- ◎電波状況の悪化により電波が届かない場合

5 緊急機能について

■緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

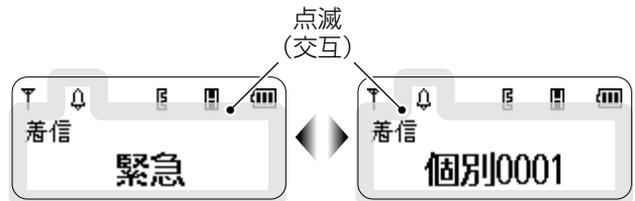
【緊急呼び出しのしかた】

1. 相手と同じメモリーチャンネルに合わせます。
2. 「緊急」と表示されるまで、[緊急呼び出し]を長く押しします。
 - 「ピピピ…」と鳴って、一定の間隔でランプが赤色に点灯します。
3. 「緊急」表示が点滅した状態で、相手局から応答があるのを待ちます。
 - 応答があると、警告音が停止すると同時に、「緊急」表示の点滅が停止して、ランプが緑色に点灯します。
4. 通話をつづけます。
 - 終話すると、緊急呼び出し前の状態に戻ります。

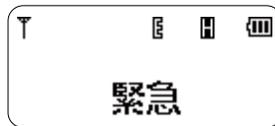


【緊急呼び出しを受けたときは】

1. 「ピピピ…」と鳴って、ランプが赤色に点滅します。
 - ※個別呼び出し機能が「ON」の場合は、「緊急」と「相手局番号」が交互に表示されます。
 - 個別呼び出し機能が「OFF」の場合は、「緊急」が表示されます。
2. [PTT]を押して、応答します。
 - 警告音が停止します。
3. 通話をつづけます。
 - 終話すると、緊急呼び出しを受ける前の状態に戻ります。



例：個別呼び出し「ON」



例：個別呼び出し「OFF」

【緊急呼び出しを停止するには】

無線機の電源を切ることで、緊急呼び出しを停止できます。

ご注意

下記の場合は、緊急呼び出しができません。

◎呼出CH(CH15)、または上空チャンネル(CH S1～CH S5)を選択している場合

◎混信防止機能により送信制限されている場合

◎送信禁止チャンネルを選択している場合

※お買い上げの販売店で「送信禁止チャンネルでの発信」が許可されているときは、緊急呼び出しができます。

◎充電モードになっている場合

5 緊急機能について

■ マンダウン機能

本製品を使用している人が倒れるなどして、本製品が60度以上傾いた状態が一定時間つづく、マンダウン機能が動作し、自動で緊急呼び出しをします。

マンダウン機能が動作すると、緊急呼び出し機能が自動的に動作します。

※ マンダウン機能を使用するには、設定をお買い上げの販売店にご依頼ください。

【動作について】

無線機が60度以上傾いた状態が10秒間(初期設定時)つづいた場合、「ピッピッピッ」と警告音が鳴ります。

警告音が鳴りはじめて、無線機が60度以上傾いた状態が10秒間(初期設定時)つづく、自動で緊急呼び出しをします。

※ 緊急呼び出しが動作するまでに無線機の傾きを30度以内に戻すと、警告音を鳴らすまでの時間がリセットされます。

※ 無線機の電源を切ることで、緊急呼び出しを停止できます。

■ ローンワーカー機能

本製品を一定時間操作しなかった場合、ローンワーカー機能が動作し、自動で緊急呼び出しをします。

警備中などに定期連絡を義務付けている場合で、何らかの事故が発生して連絡ができなかった場合などに便利です。

※ ローンワーカー機能を使用するには、設定をお買い上げの販売店にご依頼ください。

【動作について】

無線機の操作をしない状態が60分間(初期設定時)つづいた場合、「ピッ」と警告音が鳴ります。

警告音が鳴ったあと、さらに60秒間(初期設定時)操作をしない状態がつづく、自動で緊急呼び出しをします。

※ 緊急呼び出しが動作するまでに、スイッチ操作、またはキー操作をすると、警告音を鳴らすまでの時間がリセットされます。

※ 無線機の電源を切ることで、緊急呼び出しを停止できます。

ご注意

本製品に搭載されている緊急呼び出し機能は、電池の消耗、周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)など、周囲の環境によっては、通信できないこともありますので、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的としていません。補助的な使用を目的とした機能としてご理解ください。

緊急呼び出し機能、マンダウン機能、ローンワーカー機能を使用できないことが原因で発生したいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

6

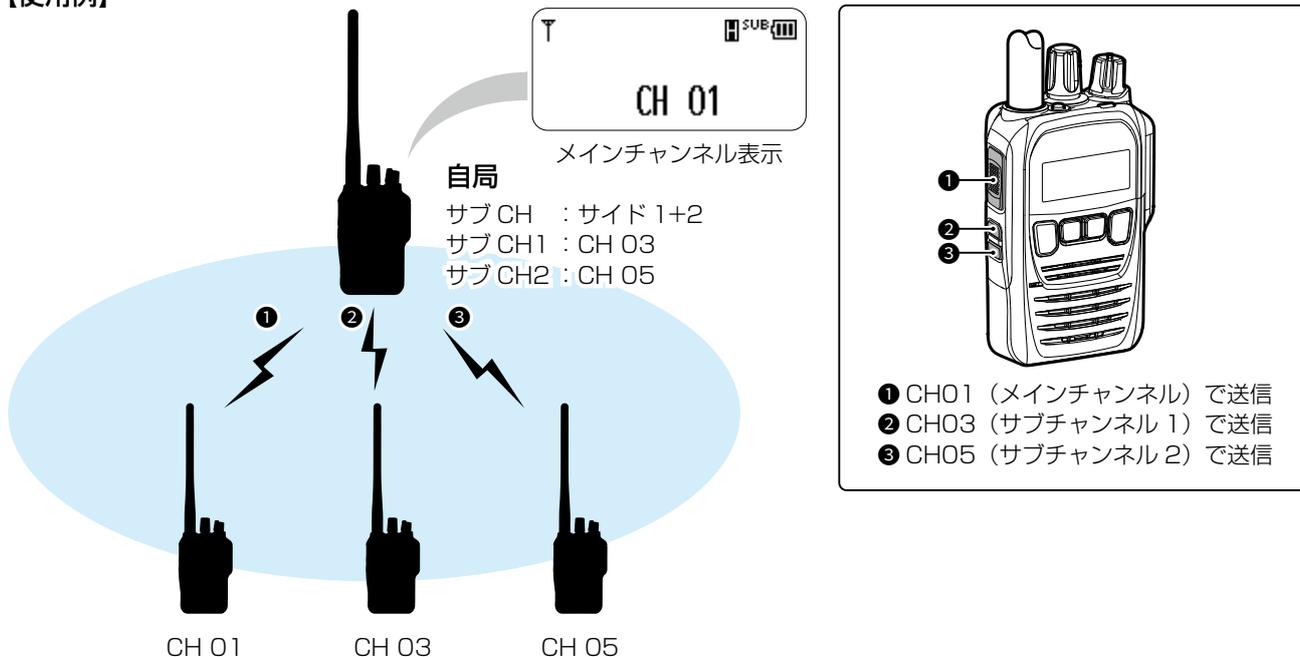
サブチャンネルPTT機能について

■サブチャンネルPTT機能とは

サブチャンネルPTT機能は、サイドキーにサブチャンネルを割り当てることで、チャンネル切り替え操作をしないで最大3チャンネル間で送受信ができる機能です。

※サブチャンネルPTT機能と併用できない機能が設定されている場合、サブチャンネルPTT機能が使用できません。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

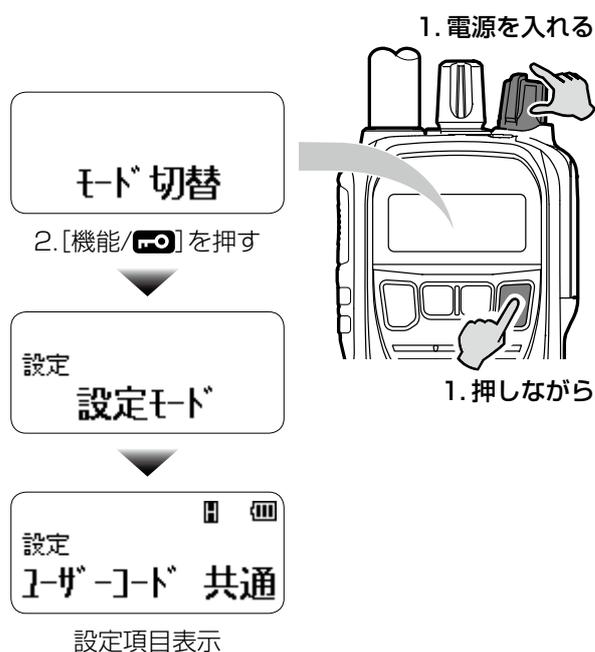
【使用例】



■サブチャンネルPTT機能を設定する

1 設定モードにする

- 無線機の電源を切った状態で、[機能/PTT]を押しながら、電源を入れます。
 - 「ピッ」と鳴って、「モード切替」が表示されます。
 - [機能/PTT]から手をはなしたら、「モード切替」が表示されているあいだに、再度、[機能/PTT]を押します。
 - 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」が表示されたあと、設定項目(例：ユーザーコード)が表示されれば、設定モードに移行しています。
- ※「モード切替」が表示されなかったときは、手順1から操作をやりなおしてください。



6 サブチャンネルPTT機能について

■サブチャンネルPTT機能を設定する

2 サブチャンネルPTT機能を設定する

1. [機能/]、または[設定]を繰り返し押しして、「サブCH OFF」(初期設定時)を選択します。
2. [▲]を押して、「サイド1」、「サイド2」、または「サイド1+2」を選択します。
 - 「SUB」が点灯し、サブチャンネルPTT機能が有効になります。

サイド1 : [サイド1]を押したとき、サブチャンネル1で送信する

サイド2 : [サイド2]を押したとき、サブチャンネル1で送信する

サイド1+2 : [サイド1]を押したときはサブチャンネル1、[サイド2]を押したときはサブチャンネル2で送信する



2. [▲]を押して選択する



「SUB」が点灯する
(例: サブCH サイド1)



1. 繰り返し押し

3 サブチャンネルにメモリーチャンネルを割り当てる

1. [機能/]を押して、「サブCH1 CH 01」(初期設定時)を選択します。
2. [▼]、または[▲]を押して、サブチャンネル1に割り当てるメモリーチャンネルを選択します。
 - ※ 設定範囲は、「CH 01～CH 30」、「CH S1～CH S5」*です。
 - ★ 上空用チャンネルの設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※サブチャンネルPTT機能の設定が「サイド1+2」のときは、もう一度[機能/]を押して、「サブCH2 CH 02」(初期設定時)を選択し、サブチャンネル2にメモリーチャンネルを割り当ててください。



2. [▼]/[▲]を押して選択する



(例: CH 03)

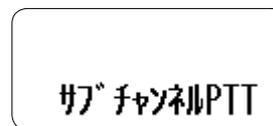
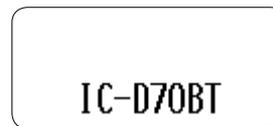


1. 押す

4 変更を適用する

[PTT]を押して、変更を適用します。

- 無線機が再起動後、サブチャンネルPTT機能が使用できるようになります。
- ※ 設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。
- ※ 設定モードを解除するまで通話できません。



点灯



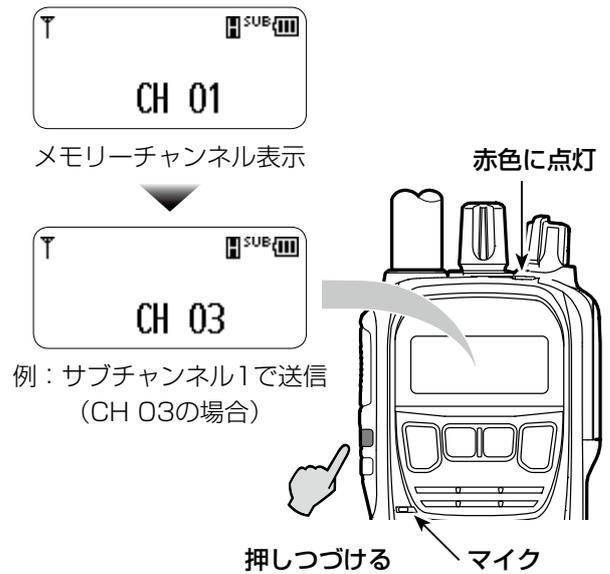
押す

6 サブチャンネル PTT 機能について

■ サブチャンネルで送信する

[サイド1]、または[サイド2]を押しつづけると、割り当てられたメモリーチャンネルで送信します。

※ 通話のしかたについては、3-1ページをご覧ください。

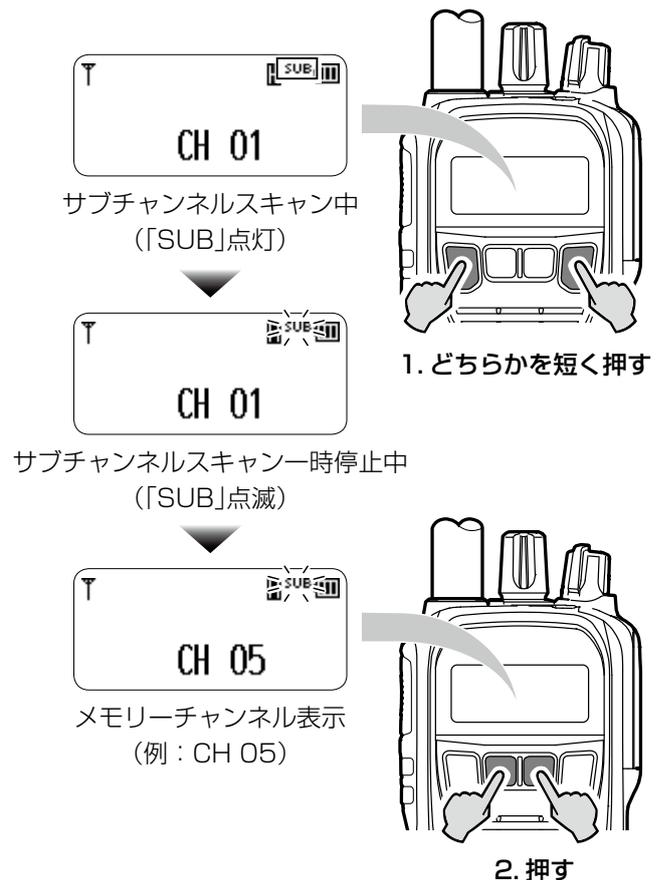


【メモリーチャンネルの変更について】

サブチャンネルのスキャン中(「SUB」点灯)は、表示中のメモリーチャンネルを変更できません。

メモリーチャンネルを変更する場合は、以下の手順で変更してください。

1. [設定]、または[機能/📶]を短く押します。
 - 「SUB」が点滅し、サブチャンネルのスキャンが一時停止します。
2. [▼]/[▲]を押して、相手と同じメモリーチャンネルに合わせます。



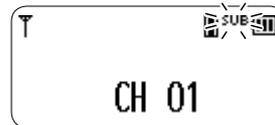
6 サブチャンネル PTT 機能について

■ サブチャンネルで個別呼び出しをする

お買い上げの販売店で個別呼び出し機能(P.3-1)が設定されている場合、サブチャンネルで個別呼び出しができます。

※通話のしかたについては、3-1ページをご覧ください。

1. [設定]、または[機能/🔊]を短く押します。
 - 「SUB」が点滅し、サブチャンネルのスクリーンが一時停止します。
2. 「SUB」が点滅しているあいだに、[設定]を繰り返し押し、呼び出す相手を選択します。
3. [▼]/[▲]を押して、相手の個別番号、または所属するグループ番号を選択します。
4. 他局が通信していないこと(状態表示ランプ：消灯)を確認後、[サイド1]、または[サイド2]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。



1. サブチャンネルのスクリーンを一時停止する
(「SUB」点滅)



2. 呼び出す相手を選択する
(例：個別)



3. 相手の個別番号を選択する
(例：0005)



4. サブチャンネルで送信する
(「SUB」点灯)

■ サブチャンネルで受信する

サブチャンネルで受信すると、サブチャンネルに設定されたメモリーチャンネル表示(例：CH 03)になります。応答するときは、そのサブチャンネルが設定されている[サイド1]、または[サイド2]を押します。

※サブチャンネルで受信したとき、[PTT]で応答できるようにするには、設定が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ご注意

「SUB」が点灯しているあいだ、無線機は常にサブチャンネルをスキャンしています。

[設定]や[機能/🔊]の操作後など、サブチャンネルのスクリーンが一時停止中(「SUB」点滅)は、サブチャンネルで受信できませんので、ご注意ください。



- 例：サブチャンネル1で受信
(CH 03の場合)

7 そのほかの機能について

■ ロック機能

不用意に無線機のキーやスイッチに触れても、設定や表示が変わらないようにする機能です。

【操作のしかた】

[機能/]を長く(約1秒)押します。

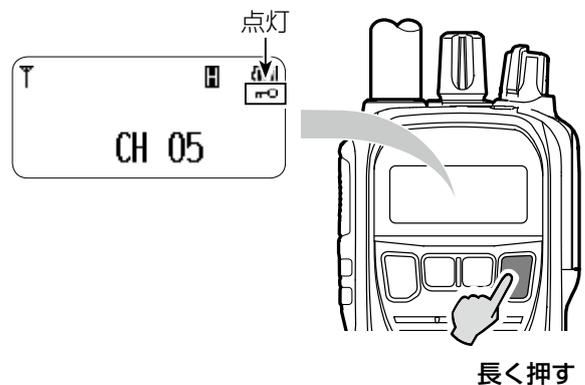
- 「ピピッ」と鳴って、「」が表示されます。

※同じ操作をすると、解除できます。

【ロック中にできる操作】

- ロック機能の解除
- 送信/受信
- 電源の「ON」/「OFF」
- モニター機能*の「ON」/「OFF」
- 音量調整*
- 緊急呼び出し*

★機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



■ 送信出力の切り替え

最適な通信ができるように、相手局との距離に応じて送信出力を切り替えられます。

【操作のしかた】

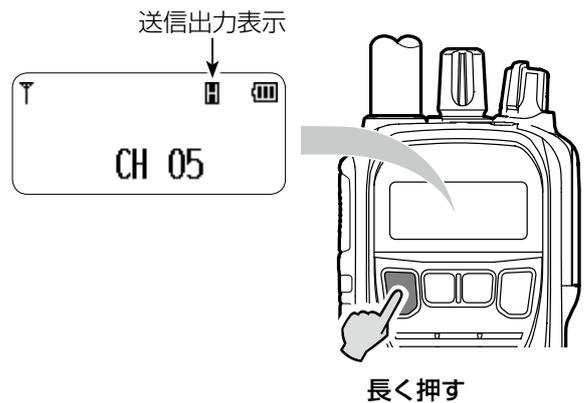
[設定]を長く(約1秒)押すごとに、送信出力をハイパワー(5W)、ローパワー(1W)に切り替えます。

ハイパワー選択時は「」が、ローパワー選択時は「」が点灯します。

※無線機本体で切り替えできるようにするには、設定が必要です。

設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※充電中、および選択したメモリーチャンネルが受信専用の場合は、「」が点灯し、送信出力の切り替えはできません。



7 そのほかの機能について

■ GPS機能

自局の位置情報(緯度/経度)を表示したり、自局の位置情報を相手局に送信したりできる機能です。

相手局の位置情報を受信したときは、自局から相手局までの距離と、自局から見た相手局の方位が表示されます。

※GPS機能を使用する場合は、設定モード(P.8-4)での設定が必要です。

※充電モードのときは、GPS機能は無効になり、「」が消灯します。

※「」が点滅から点灯になると、受信(測位)完了です。

点滅している状態では、位置情報の表示や録音履歴、発着信履歴使用時の時刻表示ができません。

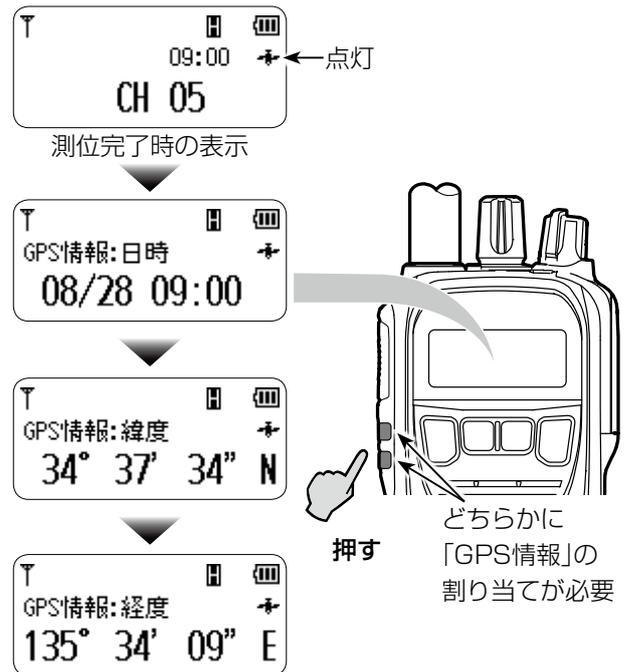
※ご使用になる場所や建物の周辺環境によって、特に屋内では、GPS衛星からの信号を受信できない場合があります。

【自局の位置情報を確認するには】

[サイド1]、または[サイド2]に「GPS情報」の割り当てが必要です。

設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

1. 「」が点灯(測位が完了)していることを確認します。
 2. 「GPS情報」が割り当てられた[サイド1]、または[サイド2]を押します。
 - 押すごとに、日時、緯度、経度表示が切り替わります。
- ※お買い上げの販売店で自局初期位置情報が設定されている場合は、「」が点滅している(測位が完了していない)ときでも、緯度、経度を表示できます。このとき、「GPS情報:緯度 設定」、および「GPS情報:経度 設定」と表示されます。

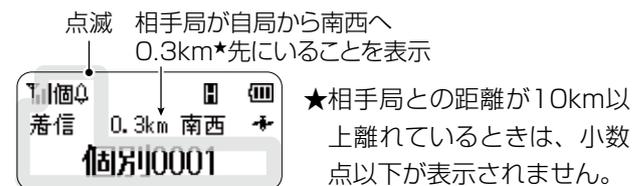


【相手局から位置情報を受信したときの表示】

GPS機能が設定されているとき、相手局から位置情報付きの呼び出し(個別/ユーザーコード)を受けると、自局と相手局までの距離、および自局から見た相手局の方位が表示されます。

※個別呼び出し機能が「OFF」の場合でも、録音再生機能、またはポケットビープ機能が「ON」の場合は、距離、および方位が表示されます。

各機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



【自局の位置情報を送信するには】

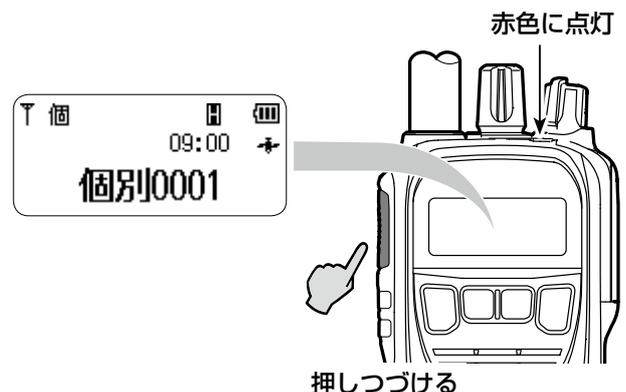
「GPS送信」(P.8-4)を「ON」に設定し、「」が点灯している状態で、個別呼び出し(P.3-1)、またはユーザーコードによる呼び出し(P.4-1)をします。

- 音声と同時に、自局の位置情報が通話相手に送信されます。

ご注意

[PTT]を押すと、位置情報を送信後に、音声を送信されます。

「ピピッ」と鳴ってから、通話相手に呼びかけてください。呼出CH(CH15)を選択している場合は、位置情報を送信できません。



7 そのほかの機能について

■ Bluetooth機能

本製品のBluetooth機能を有効にすると、Bluetooth対応機器と接続できます。

※ Bluetooth機能を使用する場合は、設定モード(P.8-5)での設定が必要です。

※ Bluetoothの通信範囲は、約10m(目安)です。

※ 本製品は、最大8台(ヘッドセット、データ端末それぞれ最大7台)までのBluetooth機器を登録できますが、本製品とBluetooth機器を1対1の組み合わせで設定されることをおすすめします。

※ 本製品と別売品のVS-3(Bluetoothヘッドセット)をBluetooth接続することで、VS-3から送受信操作ができます。

■ ペアリングのしかた

ペアリング(接続の認証)とは、Bluetooth機器と本製品をお互いに登録し、接続を許可するためのものです。

一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降ペアリングする必要はありません。

※ 複数のBluetooth機器がある場所では、ペアリングしたいBluetooth機器が検索できないことがあります。

このような場合は、必要なBluetooth機器だけになるように、使用しないBluetooth機器の使用を停止、またはほかのBluetooth機器からはなれるなどしてください。

※ 電源を切るなどして、Bluetooth接続を切断した場合は、無線機本体側のスピーカーから音が出るように切り替わります。

無線機本体側の音量ボリュームの上げすぎにご注意ください。

※ 以下では、VS-3を例に説明しています。

1 VS-3をペアリングモードにする

1. LEDランプが赤/青交互に点滅するまで、VS-3の[電源]を長く(約6秒)押します。

2. 「ピパ*」と音がして、LEDランプが赤/青交互に点滅したら、ボタンから手をはなします。

※ はじめてVS-3をご使用になる場合は、電源を入れるだけでペアリングモードになります。

※ ペアリングする機器がない状態が5分つづくと、ペアリングモードが解除され、さらに5分経過すると、電源が切れます。

★ VS-3に接続しているイヤホンから音が鳴ります。



2 設定モードでBluetooth機能をONにする

1. 本製品の電源を切った状態で、[機能/]を押しながら、電源を入れます。

・ 「ピッ」と鳴って、「モード切替」が表示されます。

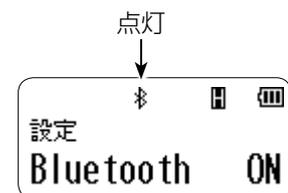
2. [機能/]から手をはなしたら、すぐに[機能/]を短く押します。

・ 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」が表示されたあと、「ユーザーコード」が表示されれば、設定モードに移行しています。

3. [設定]を押して、「Bluetooth」を選択します。

4. [▲]を押します。

5. 設定モードのまま、次の手順「3 無線機とVS-3をペアリングする」を操作します。



7 そのほかの機能について

■ペアリングのしかた

3 無線機とVS-3をペアリングする

1. [機能/

【ペアリング後の動作について】

一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降ペアリングする必要はありません。

下記の条件を満たしている場合、自動で接続します。

◎無線機のBluetooth機能が「ON」

◎無線機が待ち受け状態

◎Bluetooth機器の電源が「ON」

※接続中は「

接続が完了すると「

※「Bluetooth 機器一覧」(P.8-5)からも接続できます。

※2018年8月現在、動作保証しているBluetooth機器は、VS-3だけです。



Bluetoothの通信においては、周辺機器の影響で通信範囲が著しく変化します。

◎電子レンジなどによる妨害

◎無線LANによる妨害

このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離をはなすなどしてください。

また、Bluetooth機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

7 そのほかの機能について

■充電モード

無線機を充電しながら音声をモニターできるモードです。

無線機の電源を入れたまま充電を開始すると、自動的に充電モードへ移行します。

※音量調整できる範囲は、「0～10」です。

※スキャン中に充電モードへ移行した場合は、自動的にスキャンが解除され、スキャン開始前のチャンネルで待ち受けをします。

スキャンを再開する場合は、無線機を充電器から取りはずしたあと、「スキャン」を割り当てた[サイド1]/[サイド2]を押します。

※充電モード時は、GPS機能(P.7-2)が自動的にOFFになります。([>] 消灯)

【BC-226/BC-227(急速充電器)、BC-214(6連急速充電器)の場合】

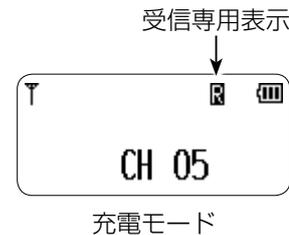
無線機を挿入してから数秒後に、充電モードへ移行します。

※受信中に無線機を挿入すると、受信が終わってから数秒後に、充電モードへ移行します。

※充電完了時には、充電モードが解除され、通常動作に戻ります。

【BC-225(インテリジェントチャージャー)の場合】

挿入直後に充電モードへ移行します。



ご注意

◎送信中は、無線機を充電器へ挿入しないでください。

◎不用意に連続で抜き差ししないでください。

※連続で抜き差ししているあいだは、充電モードへ移行しません。

◎充電モード時は、送信できません。

※受信専用の「」が点灯します。

◎充電モード時は、エマージェンシー機能(P.5-1)、マンダウン機能(P.5-3)、およびローンワーカー機能(P.5-3)が動作しません。

※他局の緊急呼び出しを受信はできますが、応答はできません。

◎充電モードを解除するときは、電源/音量ツマミの位置にご注意ください。

※充電モードが解除されると、音量調整できる範囲が「0～32」に戻りますので、電源/音量ツマミの位置によっては、大きな音量で音声聞こえる場合があります。

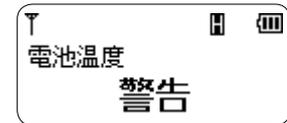
7 そのほかの機能について

■ バッテリー内部温度警告機能

バッテリーパックの内部温度が上昇すると、ビープ音とメッセージで注意を喚起する機能です。

ご注意

バッテリー内部温度警告機能は、温度上昇によるバッテリーパックの破裂、発火や火災、発熱や発煙を防ぐものではありません。
バッテリーパックの内部温度が上昇したら、温度が下がるまで、無線機の使用を中止してください。



バッテリー内部温度
警告表示

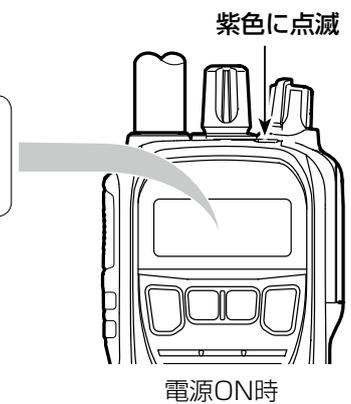
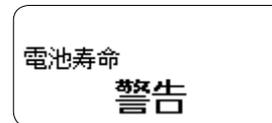
■ バッテリーチェック機能

バッテリーパックの劣化をお知らせする機能です。
無線機の電源を入れたときに、バッテリーパックの健康度を読み込み、健康度が低い場合、ビープ音とメッセージでお知らせします。

※右図のように、「電池寿命 警告」が表示された場合は、早めのバッテリーパックの交換をおすすめします。

ご参考

バッテリーパックが劣化すると、充電にかかる時間が長くなったり、バッテリーの持ちが悪くなったりします。
バッテリーパックの劣化を防ぐため、使用温度範囲外の環境での使用や、過充電/過放電は避けてください。



7 そのほかの機能について

■ バッテリーインフォモード

バッテリーパックのステータスを読み込み、残量や健康度などの情報を確認できるモードです。

ご注意

バッテリーインフォモードでは、送受信動作をしません。

【操作のしかた】

- 無線機の電源を切った状態で、[機能/

1. 電源を入れる

モード切替

2. [サイド2]を押す

電池情報 取得中

1. 押しながら

電池情報 残量 95%

バッテリーインフォモード

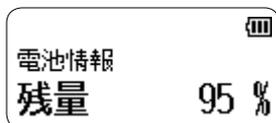
【バッテリーパックの情報について】

[▼]/[▲]を押して、項目の切り替えができます。

[PTT]を押すと、無線機を再起動します。

◎残量表示

バッテリー残量が「0%～100%」で表示されます。



ご注意

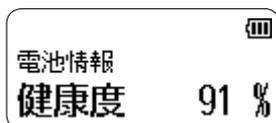
残量表示と「

◎健康度表示

バッテリーパックの劣化度合の目安を「0%(不良)～100%(良好)」で確認できます。

※バッテリーパック交換時期の目安は、健康度が60%未満になったときです。

※使用環境によって値が変化する場合があります。

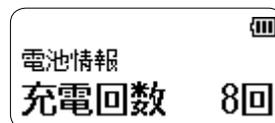


【バッテリーインフォモードを解除するには】

[PTT]を押すことで、バッテリーインフォモードが解除され、運用できる状態になります。

◎充電回数表示

現在までの充電回数が表示されます。



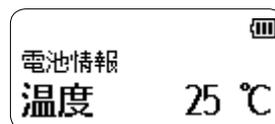
バッテリーパックの容量分の充電をすると、実際の充電回数に関係なく、充電回数1回とカウントされます。
例：BP-290(容量約2000mAh)に約1000mAhの充電を2回すると、充電回数1回とカウントする

ご注意

製造上、および保管上の理由により、お買い上げ直後のバッテリーパックでも、充電回数が複数回になっている場合があります。

◎温度表示

バッテリーの温度が表示されます。



◎品名表示

ご使用のバッテリーパックの品名が表示されます。



7 そのほかの機能について

■ 設定が必要な機能について

以下は、お買い上げの販売店にて設定を変更することで、お使いいただける機能の一覧です。
設定変更、および使用方法については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- ◎モニター機能
- ◎Pベル機能
- ◎ポケットビープ機能
- ◎送信モニタービープ機能
- ◎終話信号受信ビープ機能
- ◎秘話機能
- ◎チャンネル番号音声案内機能
- ◎VOX機能
- ◎個別呼び出し機能(P.3-1)
- ◎緊急呼び出し機能(P.5-1)
- ◎マングダウン機能(P.5-3)
- ◎ローンワーカー機能(P.5-3)
- ◎録音再生機能
- ◎プライベートチャンネル機能
- ◎スキャン機能
- ◎ワンタッチアンサー機能
- ◎パワーセーブ機能
- ◎オートキーロック機能
- ◎ローバッテリー自動切断機能
- ◎ノイズキャンセル機能
- ◎イコライザー機能
- ◎一時音量切り替え機能
- ◎Bluetoothデータ通信機能 **IC-D70BT限定**
- ◎ショートメッセージ機能
- ◎自動チャンネル切り替え機能

8

各種機能の設定

表示される設定項目は、お買い上げ時の設定によって異なります。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 設定項目一覧

下記の設定が変更できます。

※□(網かけあり)の項目は、初期設定値のときに表示される項目です。
設定値を変更すると、□(網かけなし)の項目が表示されます。

機能名称	本体表示		初期設定値	参照	
	ガイド	メッセージ			
①ユーザーコード	設定	ユーザーコード	共通	P.8-3	
②チャンネル毎のユーザーコード設定	設定	CH UC-	(CH)01 (UC-)OFF	P.8-3	
③送信出力	設定	送信出力	5W	P.8-3	
④キーロック時の音量操作	設定	ロック動作	全キー	P.8-3	
⑤外部電源設定	設定	外部電源	AUTO	P.8-3	
⑥サブチャンネルPTT ^{★1}	サブチャンネルPTT	サブCH	OFF	P.8-3	
⑦サブチャンネル1	サブチャンネルPTT	サブCH1	CH 01	P.8-4	
⑧サブチャンネル2	サブチャンネルPTT	サブCH2	CH 02	P.8-4	
⑨GPS機能 ^{★2}	設定	GPS	OFF	P.8-4	
⑩GPS送信	GPS	GPS 送信	OFF	P.8-4	
⑪自局位置登録	GPS	位置登録	ON	P.8-4	
⑫GPS情報初期化	GPS情報	初期化	---	P.8-4	
⑬Bluetooth機能	IC-D70BT限定	設定	Bluetooth	OFF	P.8-5
⑭Bluetooth検索(ヘッドセット)	IC-D70BT限定	検索HSリスト	検索 HS	---	P.8-5
⑮Bluetooth検索(データ端末)	IC-D70BT限定	検索DTリスト	検索 DT	---	P.8-5
⑯Bluetooth機器一覧	IC-D70BT限定	ペアリングリスト	—	機器なし	P.8-5
⑰Bluetooth機器削除	IC-D70BT限定	削除リスト	—	機器なし	P.8-5
⑱Bluetoothボリューム連動	IC-D70BT限定	Bluetooth	音量	連動	P.8-5
⑲Bluetooth音声ボリューム	IC-D70BT限定	Bluetooth	音声 VOL	32	P.8-5
⑳Bluetoothパワーセーブ	IC-D70BT限定	Bluetooth	パワーセーブ	OFF	P.8-5
㉑BluetoothワンタッチPTT	IC-D70BT限定	Bluetooth	ワンタッチ PTT	OFF	P.8-6
㉒BluetoothPTT&マイク切り替え	IC-D70BT限定	Bluetooth	PTT&MIC	HS+OP	P.8-6
㉓BluetoothAF出力切り替え	IC-D70BT限定	Bluetooth	AF 切替	HS	P.8-6
㉔Bluetooth初期化	IC-D70BT限定	Bluetooth	リセット	NO	P.8-6
㉕全設定初期化	設定	リセット	NO	P.8-6	

★1 「GPS機能」(⑨)が「OFF」以外のときは、設定項目が表示されません。

※機能自体も無効になります。

※お買い上げの販売店で設定が必要な機能(P.7-8)が有効になっている場合も、設定項目が表示されない場合があります。

★2 「サブチャンネルPTT」(⑥)が「OFF」以外のときは、設定項目が表示されません。

※機能自体も無効になります。

8 各種機能の設定

■ 設定モードに移行するには

【操作のしかた】

- 無線機の電源を切った状態で、[機能/☎]を押しながら、電源を入れます。
 - 「ピッ」と鳴って、「モード切替」が表示されます。
 - [機能/☎]から手をはなしたら、「モード切替」が表示されているあいだに、再度、[機能/☎]を押します。
 - 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」が表示されたあと、設定項目(例：ユーザーコード)が表示されれば、設定モードに移行しています。
- ※ 「モード切替」が表示されなかったときは、手順1から操作をやりなおしてください。

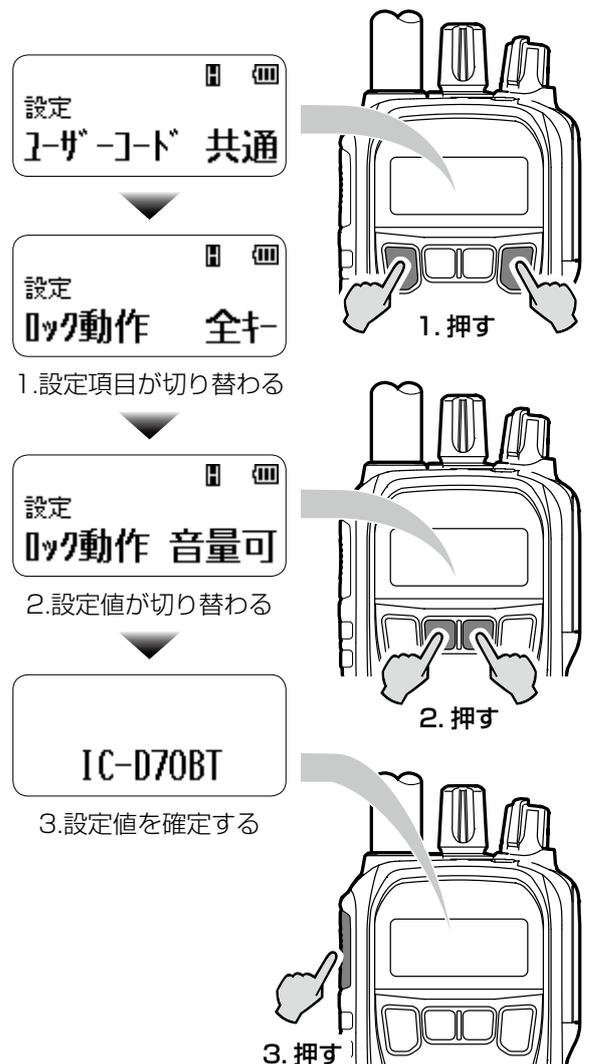


■ 設定のしかた

設定モードに移行後、以下の手順で設定を変更できます。

【操作のしかた】

- [機能/☎]、または[設定]を押して、設定項目(①～⑤)を選択します。
 - 目的の機能名称で、[▼]/[▲]を押します。
 - 設定値が切り替わります。
- ※ ほかの機能も変更するときは、手順1と2の操作を繰り返します。
- [PTT]を押します。
 - 選択した設定値が確定され、運用できる状態になります。
- ※ 設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。
※ 設定モードを解除するまで通話できません。



8 各種機能の設定

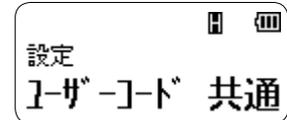
■ 設定項目について

操作については、8-2ページをご覧ください。

① ユーザーコード (初期設定：共通)

ユーザーコードについて設定します。

- CH毎：メモリーチャンネルごとに異なるユーザーコードを使用する
- 共通：メモリーチャンネル共通のユーザーコードを使用する



② チャンネル毎のユーザーコード設定 (初期設定：CH 01 UC-OFF)

メモリーチャンネルごとにユーザーコードを設定します。

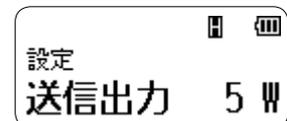
- 設定範囲：(CH)01～30、(UC)OFF、001～511
- ※[ユーザーコード] (①)を「CH毎」に設定したとき、表示されます。
※呼出CH(CH15)はユーザーコードを設定できません。



③ 送信出力 (初期設定：5W)

送信出力を設定します。

- 1W：送信出力を1Wに設定する
 - 5W：送信出力を5Wに設定する
 - CH毎：チャンネルごとに送信出力を設定する
- ※チャンネルごとに送信出力を設定するには、お買い上げの販売店にご依頼ください。



④ キーロック時の音量操作 (初期設定：全キー)

ロック機能動作中の音量調整について設定します。

- 音量可：音量操作を有効にする
- 全キー：音量操作を無効にする



⑤ 外部電源設定 (初期設定：AUTO)

別売品への電源供給を設定します。

- GND：電源を供給しない
 - 5V：電源を入れたあと、5Vの電源を供給する
- ※別売品を接続していない場合でも、常に5Vの電源を供給します。
- AUTO：別売品を接続すると、自動で電源を供給する



⑥ サブチャンネルPTT (初期設定：OFF)

サブチャンネルPTT機能を設定します。

- OFF：サブチャンネルPTT機能を使用しない
 - サイド1：[サイド1]でサブチャンネルPTT機能を使用する
 - サイド2：[サイド2]でサブチャンネルPTT機能を使用する
 - サイド1+2：[サイド1]と[サイド2]でサブチャンネルPTT機能を使用する
- ※GPS機能(⑨)とは併用できません。



8 各種機能の設定

■ 設定項目について

⑦ サブチャンネル1 (初期設定：CH 01)

サブチャンネル1に割り当てるメモリーチャンネルを設定します。

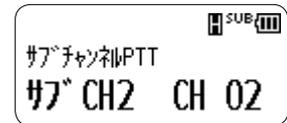
- 設定範囲：「CH 01～CH 30」、「CH S1～CH S5」*
- ★上空用チャンネルの設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 「サブチャンネルPTT」(⑥)が「サイド1」、または「サイド1+サイド2」の場合
：[サイド1]を押しているあいだ、割り当てたメモリーチャンネルで送信する
- 「サブチャンネルPTT」(⑥)が「サイド2」の場合
：[サイド2]を押しているあいだ、割り当てたメモリーチャンネルで送信する



⑧ サブチャンネル2 (初期設定：CH 02)

サブチャンネル2に割り当てるメモリーチャンネルを設定します。

- 設定範囲：「CH 01～CH 30」、「CH S1～CH S5」*
- ★上空用チャンネルの設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ※[サイド2]を押しているあいだ、割り当てたメモリーチャンネルで送信します。
- ※「サブチャンネルPTT」(⑥)が「サイド1+2」のとき、設定項目が表示されます。



⑨ GPS機能 (初期設定：OFF)

GPS機能を設定します。

- OFF : GPS機能を使用しない
 - ON : GPS機能を使用する
※設定モードでは「」が点灯します。
 - マニュアル：内蔵GPSを使用せず、手動で入力した位置情報を使用する
※設定モードでは「」が点滅します。
※位置情報の入力、お買い上げの販売店にご依頼ください。
※すでに測位した情報を自局の位置情報として登録している場合は、その位置情報が使用されます。
- ※無線機を使用している場所や建物の周辺環境によって、GPS衛星からの信号を受信(測位)できない場合があります。
- ※サブチャンネルPTT機能(⑥)とは併用できません。



⑩ GPS送信 (初期設定：OFF)

測位した自局の位置情報を送信するかどうかを設定します。

- OFF : 自局の位置情報を送信しない
- ON : [PTT]を押すと同時に、測位した自局の位置情報を送信する



⑪ 自局位置登録 (初期設定：ON)

測位した情報を、自局の位置情報として登録するかどうかを設定します。

- OFF : 測位した位置情報を、自局位置情報として登録しない
- ON : 測位した位置情報を、自局位置情報として登録する



⑫ GPS情報初期化 (初期設定：――)

測位した自局の位置情報を初期化します。

- ―― : 初期化しない
 - 実行 : [PTT]を押すと、初期化する
- ※初期化をしたあとは、「――」に切り替わります。
- ※「実行」を選択後、[PTT]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、初期化しないと認識され、「――」に切り替わります。



8 各種機能の設定

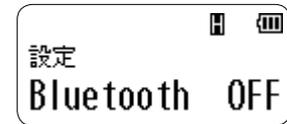
■ 設定項目について

13 Bluetooth機能 **IC-D70BT限定** (初期設定：OFF)

Bluetooth機能を設定します。

- OFF：使用しない
- ON：使用する

※Bluetooth接続を切断するときは、「OFF」に設定してください。



14 Bluetooth検索(ヘッドセット) **IC-D70BT限定** (初期設定：――)

周囲のBluetooth機能対応ヘッドセットを検索します。

- ――：[PTT]を押すと、検索を開始

※周囲にBluetooth機能対応ヘッドセットがないときは、「――」が表示されます。



15 Bluetooth検索(データ端末) **IC-D70BT限定** (初期設定：――)

周囲のBluetooth機能対応データ端末を検索します。

- ――：[PTT]を押すと、検索を開始

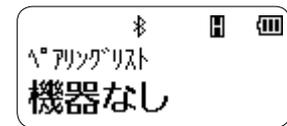
※周囲にBluetooth機能対応データ端末がないときは、「――」が表示されます。



16 Bluetooth機器一覧 **IC-D70BT限定** (初期設定：機器なし)

過去にペアリングされたBluetooth機器一覧を表示し、接続します。

表示されている機器を接続するには、[設定]を長く(約1秒)押します。

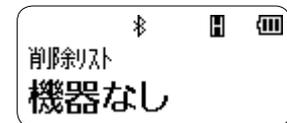


17 Bluetooth機器削除 **IC-D70BT限定** (初期設定：機器なし)

過去にペアリングされたBluetooth機器一覧を表示し、リストから削除します。

表示されている機器を削除するには、[設定]を長く(約1秒)押します。

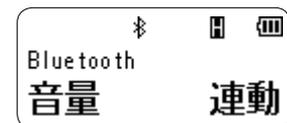
※削除できる機器がない場合は、「機器なし」が表示されます。



18 Bluetoothボリューム連動 **IC-D70BT限定** (初期設定：連動)

Bluetooth接続時の音量を設定します。

- 連動：無線機本体の音量と連動する
- 固定：「Bluetooth音声ボリューム」(19)で設定された音量に固定する



19 Bluetooth音声ボリューム **IC-D70BT限定** (初期設定：32)

「Bluetoothボリューム連動」(18)を「固定」に設定しているときに、適用される値を設定します。

- 設定範囲：1～32

※「Bluetoothボリューム連動」(18)を「固定」に設定したとき表示されます。



20 Bluetoothパワーセーブ **IC-D70BT限定** (初期設定：OFF)

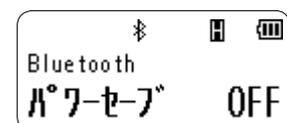
接続しているBluetooth機器のパワーセーブ機能を設定します。

- OFF：使用しない
- ON：使用する

※「ON」に設定したときは、VS-3(別売品)と接続中に2分間、操作、または音声通信がなかった場合、電池の電流消費を抑えるため、VS-3がパワーセーブ状態になります。

パワーセーブ状態でVS-3の[PTT]を押す、または押しつづけたときは、最初の1回はパワーセーブ解除の操作となり送信状態になりません。

送信するには、VS-3の[PTT]の押しなおしが必要です。



8 各種機能の設定

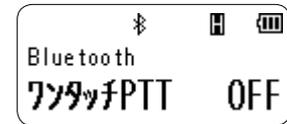
■ 設定項目について

㉑ BluetoothワンタッチPTT **IC-D70BT限定** (初期設定：OFF)

VS-3の[PTT]を短く押すごとに送信と受信を切り替える機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※「ON」に設定したときは、VS-3の[PTT]を押しつづける必要がなくなります。



㉒ BluetoothPTT&マイク切り替え **IC-D70BT限定** (初期設定：HS+OP)

Bluetooth接続時、無線機、および別売品の外部機器のPTT操作とマイクを制限するときに設定します。

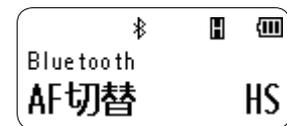
- HS : Bluetooth機器のPTT操作とマイクだけを有効にする
- HS+OP : Bluetooth機器、および外部機器のPTT操作とマイクを有効にする
※外部機器を接続しない場合、無線機のPTT操作とマイクが有効になります。
- MIC:HS : Bluetooth機器、および無線機、または外部機器のPTT操作を有効にし、Bluetooth機器のマイクだけを有効にする
※外部機器を接続しない場合、無線機のPTT操作が有効になります。



㉓ BluetoothAF出力切り替え **IC-D70BT限定** (初期設定：HS)

Bluetooth接続時、無線機、および別売品の外部機器のスピーカーを制限するときに設定します。

- HS : Bluetooth機器のイヤホンだけを使用する
- HS+OP : Bluetooth機器のイヤホン、および無線機、または外部機器のスピーカーを使用する
※スピーカー、またはイヤホンがある外部機器を接続した場合は、無線機のスピーカーが無効になります。
※AD-52を無線機に接続した状態で、AD-52にイヤホンを挿していない場合は、無線機のスピーカーが有効になります。



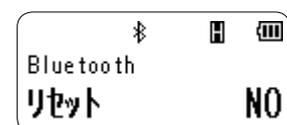
㉔ Bluetooth初期化 **IC-D70BT限定** (初期設定：NO)

Bluetoothの全設定を初期化します。

- NO : 初期化しない
- YES : [PTT]を押すと、初期化する

※初期化したあとは、「Bluetooth機能」(㉑)が「OFF」になります。

※「YES」を選択後、[PTT]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、初期化しないと認識され、「NO」に切り替わります。



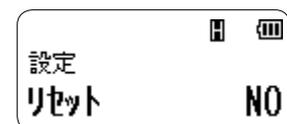
㉕ 全設定初期化 (初期設定：NO)

すべての設定を初期設定時の状態に戻す(リセットする)ときの操作です。

- NO : 初期化しない
- YES : [PTT]を押すと、初期化する

※「YES」を選択後、[PTT]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、初期化しないと認識され、「NO」に切り替わります。

※初期化後、無線機は再起動し、運用できる状態になります。



本製品を便利にお使いいただくため、下記の別売品をご用意しています。

【別売品についてのご注意】

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。

弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■別売品一覧表

弊社ホームページ <http://www.icom.co.jp/> でも、別売品についてご覧いただけます。

別売品については、防塵/防水構造になっていないので、ご注意ください。

★1 本製品に付属のものと同じです。

★2 IP67の防塵/防水性能があります。

★3 IP54の防塵/防水性能があります。

上記、防塵/防水性能は、「IP表記について」(P.iii)

をご覧ください。

※別売品を組み合わせ使用したときは、防塵/防水性能の低いものに制限されます。

変換アダプター/アンテナ関係

- AD-52 : イヤホンジャックアダプター
(ジャック：φ3.5mm)
※9-7ページと併せてご覧ください。
- FA-S05U*2 : ショートアンテナ(約5cm)
FA-S06U*2 : ミドルアンテナ(約10cm)
FA-S07U*1*2 : ロングアンテナ(約22cm)

充電する

- BC-225 : インテリジェントチャージャー
(BC-123S付属)
- BC-226 : 急速充電器(最大6台まで連結可能)
- BC-227 : 急速充電器(BC-123S付属)
- BC-228 : ACアダプター(BC-226用の電源)
- BC-123S : ACアダプター(BC-225/BC-227用の電源)
- BC-214 : 6連急速充電器
(BC-157S付属、AD-132N組み込み済み)
※電源には、付属品のBC-157S、または別売品のOPC-656OPTが必要です。
- BC-157S : ACアダプター(BC-214用の電源)
- OPC-656OPT : DC電源ケーブル(BC-214用)
- AD-132N : 急速充電アダプター(BC-214用)
- CP-23L : シガレットライターケーブル(BC-227用)

バッテリー関係

- BP-290*2 : Li-ionバッテリーパック
(Min : 1910mAh、Typ : 2010mAh)
- BP-294*2 : Li-ionバッテリーパック
(Min : 3050mAh、Typ : 3150mAh)
- BP-291*3 : アルカリ乾電池ケース
(単3形アルカリ乾電池×5本)
※9-10ページと併せてご覧ください。

外部電源

- AD-136 : 電源供給器

腰にかける

- MBB-3 : ベルトクリップ
(BP-290/BP-294/BP-291用)
- MBB-4 : ベルトクリップ
(BP-290/BP-294/BP-291用、
ステンレス製)

肩にかける

- MB-57L : ショルダーストラップ
※MBB-4、MBC-1のいずれかと組み合わせ
てお使いになれます。
- MB-61 : ショルダーストラップ
※MBB-4、MBC-1のいずれかと組み合わせ
てお使いになれます。
- MBC-1 : ショルダーストラップ金具
※同梱の止め具で、バッテリーパックのベルト
クリップ取り付け部に固定して使用します。

無線機を保護する

- LC-187 : ハードケース(BP-290用)
※装着した状態でスイッチ操作と充電
(BC-226/BC-227を使用時)ができます。
- LC-188 : ハードケース(BP-290用)
- LC-190 : ハードケース(BP-294用)
※装着した状態でスイッチ操作と充電
(BC-226/BC-227を使用時)ができます。

9 別売品について

■別売品一覧表

- ★1 IPX7の防水性能があります。
- ★2 「外部電源設定」(P.8-3)が「AUTO」(初期設定)、または「5V」のとき、使用できます。
- ★3 IP67の防塵/防水性能があります。
- ★4 IP54の防塵/防水性能があります。
- ★5 IPX4の防水性能があります。

スピーカーマイクロホン関係

- HM-159FS*1** : 防水形スピーカーマイクロホン
※SP-31と組み合わせてもお使いになれます。
※イヤホン装着時も、スピーカーから音が出ます。
- HM-159SJ*1*2** : 防水形スピーカーマイクロホン
※SP-31と組み合わせてもお使いになれます。
- HM-172*2*3** : 防水形スピーカーマイクロホン
- HM-183SJ*1** : 防水形スピーカーマイクロホン
- HM-186SJ** : 小型スピーカーマイクロホン
※SP-16、SP-16B、SP-16BW、SP-29、SP-29Lのいずれかと組み合わせてもお使いになれます。

スピーカー関係

- EH-11** : イヤーパード型スピーカー
(プラグ: ϕ 2.5mm)
※9-8ページと併せてご覧ください。
- EH-12** : ヘルメット取り付け型スピーカー
(プラグ: ϕ 2.5mm)
※ヘルメットのストラップに取り付けて使用します。
※9-8ページと併せてご覧ください。

マイクロホン/ヘッドセット関係

- HM-104** : 単一指向性タイピン型マイクロホン
※HM-104A
(無指向性タイピン型マイクロホン)
※EH-14、EH-15のいずれか、およびOPC-636、OPC-637、OPC-2277のいずれかでお使いになれます。
- HM-109** : 接話タイピン型マイクロホン
※9-8ページと併せてご覧ください。
- HM-163A** : 接話タイピン型マイクロホン
※9-8ページと併せてご覧ください。
※コネクター部はIPX7相当の防水性能がありますが、マイクロホン部は防水構造ではありません。

マイクロホン/ヘッドセット関係

- HM-238*2*4** : サブチャンネルPTT機能対応タイピン
(近日発売予定) 型マイクロホン
※9-9ページと併せてご覧ください。
- HS-88A** : ヘッドセット
※OPC-636、OPC-637、OPC-2277のいずれかでお使いになれます。
- HS-92** : ヘルメット取り付け型ヘッドセット
(ワニ口で固定)
※9-8ページと併せてご覧ください。
- HS-94** : イヤーフック型ヘッドセット
※VS-2SJと組み合わせてもお使いになれます。
- HS-95** : ネックアーム型ヘッドセット
※VS-2SJと組み合わせてもお使いになれます。
- HS-97** : 咽喉マイクロホン
※VS-2SJと組み合わせてもお使いになれます。
- HS-99** : 耳かけ式イヤホンマイクロホン
※VS-2SJと組み合わせてもお使いになれます。
- OPC-636** : マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル
(ロック式)
※9-8ページと併せてご覧ください。
- OPC-637** : マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル
(ノンロック式)
※9-8ページと併せてご覧ください。
- OPC-2277*2*4** : 通話スイッチ内蔵型接続ケーブル
(電子ロック式)
※HS-88A、HS-92、HM-104、HM-104Aのいずれかでお使いになれます。
- VS-2SJ*2*5** : VOXユニット
※HS-94、HS-95、HS-97、またはHS-99と組み合わせてもお使いになれます。
- VS-3** : Bluetoothヘッドセット

9 別売品について

■別売品一覧表

イヤホン関係	
EH-13	: 耳かけ型イヤホン(プラグ: ϕ 2.5mm) ※ケーブル長: 約50cm ※HS-92と組み合わせてお使いになれます。
EH-14	: オープンエア型イヤホン (プラグ: ϕ 2.5mm) ※HM-104、HM-104A、HM-109、HM-163Aのいずれかでお使いになれます。
EH-15	: イヤホン(プラグ: ϕ 2.5mm) ※EH-15B(黒色) ※HM-104、HM-104A、HM-109、HM-163A、HM-238(近日発売予定)のいずれかでお使いになれます。
SP-16	: 耳かけ型イヤホン(プラグ: ϕ 3.5mm) ※ケーブル長: 約50cm ※SP-16B(黒色)/SP-16BW(黒色/ロングケーブル: 約1m) ※AD-52と組み合わせてお使いになれます。
SP-26	: チューブイヤホン(プラグ: ϕ 2.5mm) (近日発売予定) ※HM-238(近日発売予定)でお使いになれます。
SP-28	: 耳かけ型イヤホン(プラグ: ϕ 2.5mm) ※ケーブル長: 約45cm ※HM-104、HM-104A、HM-109、HM-163A、HM-238(近日発売予定)のいずれかでお使いになれます。
SP-29	: 耳かけ型イヤホン(プラグ: ϕ 3.5mm) ※ケーブル長: 約97cm ※SP-29L(L型プラグ: ϕ 3.5mm) ※AD-52と組み合わせてお使いになれます。
SP-31	: 耳かけ型イヤホン (HM-159FS/HM-159SJ専用)
SP-32	: チューブ式イヤホンアダプター ※EH-15、EH-15B、SP-16、SP-16B、SP-16BWのいずれかでお使いになれます。

■バッテリーパック使用時の使用時間と充電時間

名称 定格項目		BP-290	
電池の種類		リチウムイオン	
電池の容量		1910mAh min. /2010mAh typ.	
出力電圧		7.2V	
寸法 (幅×高さ×奥行)		51.7×85.4×17.7 【条件】突起物は含まず/【単位】mm	
使用時間	パワーセーブ	ON	OFF
	送信出力	1W	約20時間
		5W	約13時間
【条件】送信5、受信5、待ち受け90の割合で、繰り返し運用			
充電時間 (充電器名)	BC-225	約2.5時間	
	BC-226	約2.7時間	
	BC-227	約2.4時間	
	BC-214	約2.8時間	

名称 定格項目		BP-294	
電池の種類		リチウムイオン	
電池の容量		3050mAh min. /3150mAh typ.	
出力電圧		7.2V	
寸法 (幅×高さ×奥行)		51.8×87.7×24.9 【条件】突起物は含まず/【単位】mm	
使用時間	パワーセーブ	ON	OFF
	送信出力	1W	約35時間
		5W	約22時間
【条件】送信5、受信5、待ち受け90の割合で、繰り返し運用			
充電時間 (充電器名)	BC-225	約4時間	
	BC-226	約4.3時間	
	BC-227	約4.5時間	
	BC-214	約5時間	

※出荷時、パワーセーブ機能は、「OFF」に設定されています。
パワーセーブ機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

9 別売品について

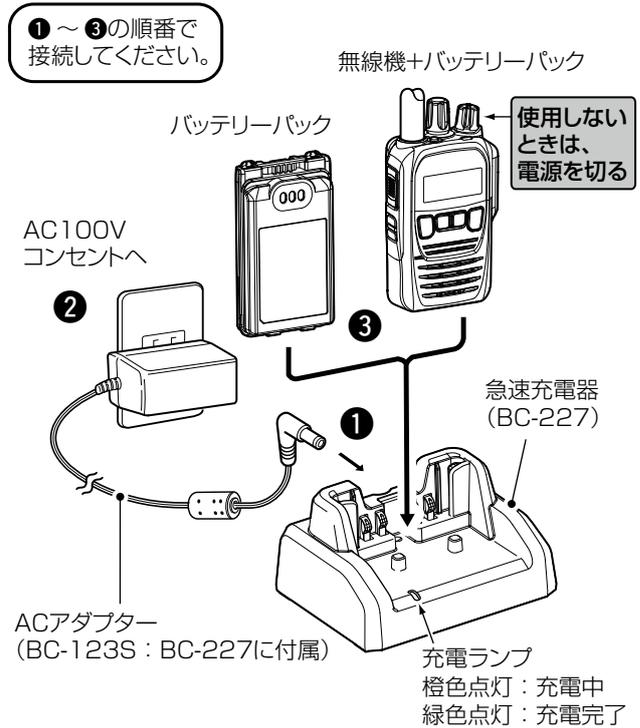
■ BC-227(急速充電器)：充電のしかた

バッテリーパックを単体、または無線機に装着した状態で充電できます。

△危険

弊社指定(BP-290/BP-294)以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。

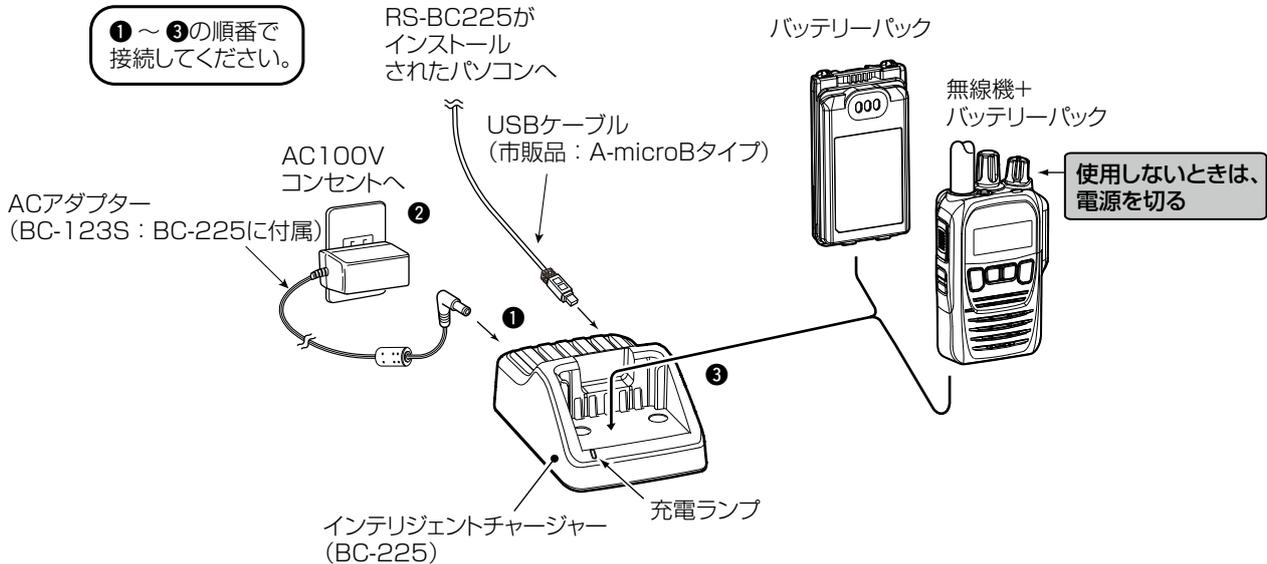
- ◎充電中、充電ランプは橙色に点灯します。
充電が完了すると緑色に点灯します。
※充電エラー時は、充電ランプが橙色と緑色に交互点灯します。
右図の接続を確認し、充電しなおしてください。
- ◎電源を入れたまま充電すると、充電モード(P.7-5)に移行するため、充電が完了するまでの時間が長くなります。
受信する必要がないときは、電源を切って充電してください。
- ◎充電が完了した状態で放置していても、バッテリーパックの電圧が低下すると、自動的に再充電を開始します。
※使用温度範囲外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電器の故障ではありません。
※充電後や充電しないときは、ACコンセントからACアダプターを抜いてください。



9 別売品について

■ BC-225(インテリジェントチャージャー)：充電のしかた

RS-BC225(別売品：BC-225用リーダーソフトウェア)で充電状態を確認しながら、バッテリーパック単体、または無線機に装着した状態で充電できます。



△危険

弊社指定(BP-290/BP-294)以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。

- ◎電源を入れたまま充電すると、充電モード(P.7-5)に移行するため、充電が完了するまでの時間が長くなります。
受信する必要がないときは、電源を切って充電してください。
- ◎充電が完了した状態で放置していても、バッテリーパックの電圧が低下すると、自動的に再充電を開始します。
※使用温度範囲外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電器の故障ではありません。
※充電後や充電しないときは、ACコンセントからACアダプターを抜いてください。

◇充電ランプについて

色	充電状態
橙(点滅)	充電中
青(点灯)	充電完了
緑(点灯)	充電完了(エコモード*)
赤(点滅)	充電エラー ※上図の接続を確認し、充電しなおしてください。

- ★エコモードでは、バッテリーの劣化を遅らせるため、満充電を100%とした場合の約80%~90%に充電されます。
エコモードのON/OFFは、別売品のRS-BC225で設定できます。
動作環境など詳しくは、RS-BC225のインストールガイドをご覧ください。

9 別売品について

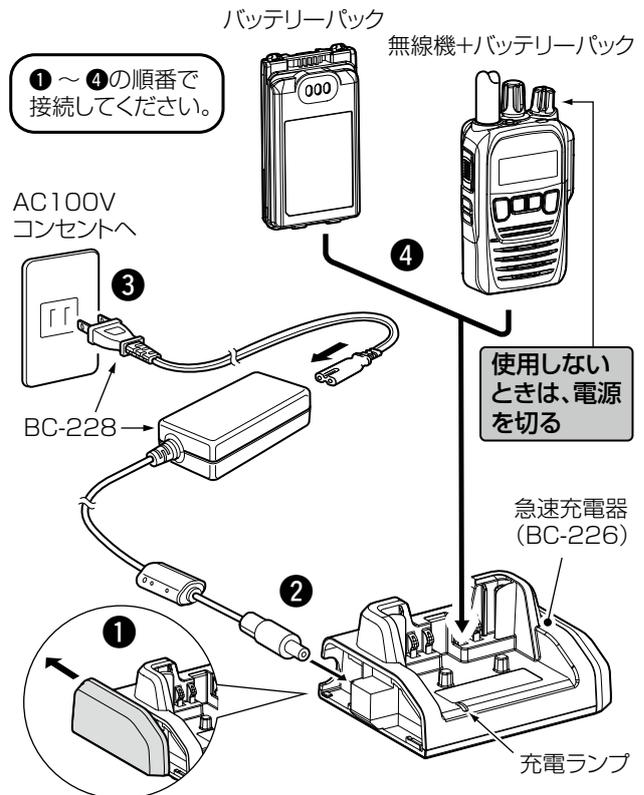
■ BC-226(急速充電器)：充電のしかた

バッテリーパックを単体、または無線機に装着した状態で充電できます。

△危険

弊社指定(BP-290/BP-294)以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。

- ◎充電中、充電ランプは橙色に点灯します。
充電が完了すると緑色に点灯します。
※充電エラー時は、充電ランプが橙色と緑色に交互点灯します。
右図の接続を確認し、充電しなおしてください。
- ◎電源を入れたまま充電すると、充電モード(P.7-5)に移行するため、充電が完了するまでの時間が長くなります。
受信する必要がないときは、電源を切って充電してください。
- ◎充電が完了した状態で放置していても、バッテリーパックの電圧が低下すると、自動的に再充電を開始します。
※使用温度範囲外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電器の故障ではありません。
※充電後や充電しないときは、ACコンセントからACアダプターを抜いてください。



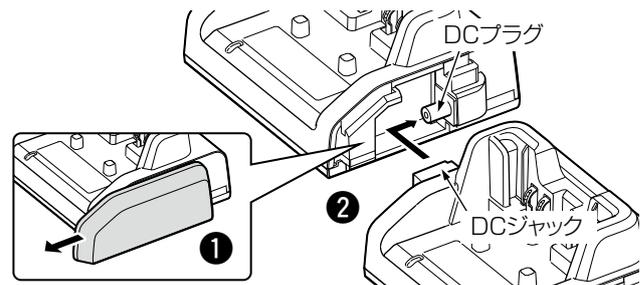
■ BC-226の連結充電について

充電器を最大6台まで連結して、同時に充電できます。

1. 充電器右側面のカバーを取りはずします。(①)
2. 右側面にあるDCプラグと、もう1台の充電器(左側面)にあるDCジャックを「カチッ」と音がするまで差し込みます。(②)

△警告

BC-226を7台以上連結して充電しないでください。
火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。



9 別売品について

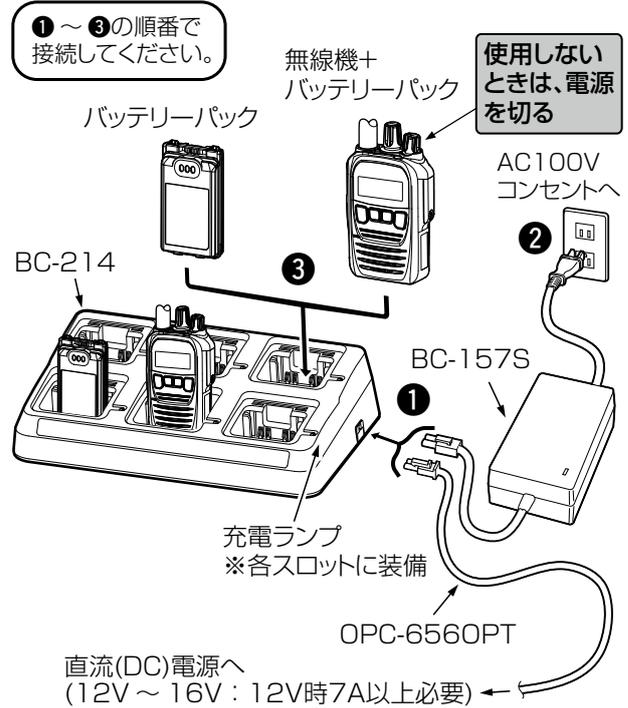
■ BC-214(6連急速充電器)：充電のしかた

バッテリーパックを単体、または無線機に装着した状態で充電できます。

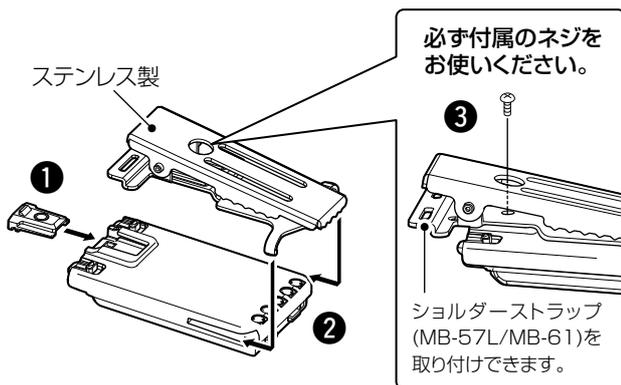
△危険

弊社指定(BP-290/BP-294)以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。

- ◎充電中、充電ランプは橙色に点灯します。
充電が完了すると緑色に点灯します。
※充電エラー時は、充電ランプが橙色と緑色に交互点灯します。
右図の接続を確認し、充電しなおしてください。
- ◎電源を入れたまま充電すると、充電モード(P.7-5)に移行するため、充電が完了するまでの時間が長くなります。
受信する必要がないときは、電源を切って充電してください。
- ◎充電が完了した状態で放置していても、バッテリーパックの電圧が低下すると、自動的に再充電を開始します。
※使用温度範囲外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電器の故障ではありません。
※充電後や充電しないときは、ACコンセントから充電器の電源ケーブルを抜いてください。



■ MBB-4(ベルトクリップ)



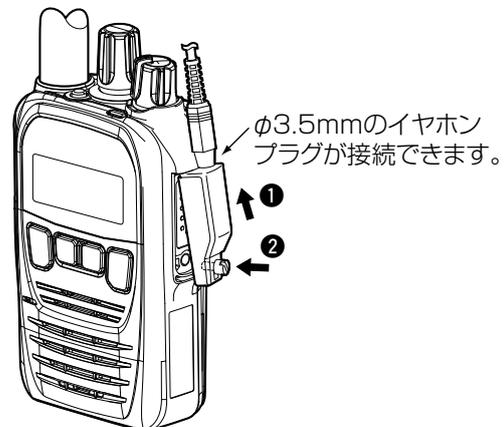
△注意

腰などに固定するときは、指を挟まないようご注意ください。

■ AD-52(イヤホンジャックアダプター)

SP-16、SP-16B、SP-16BW、SP-29、SP-29Lのいずれかでお使いになれます。

※装着しても、イヤホンプラグが接続されるまでは、無線機内蔵のスピーカーが機能します。



9 別売品について

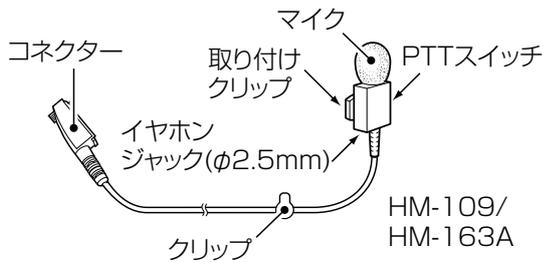
■HM-109/HM-163A(接話タイピン型マイクロホン)

EH-14、EH-15、EH-15B、SP-28のいずれかでお使いになれます。

※HM-109 :単一指向性マイク(樹脂取り付けクリップ)

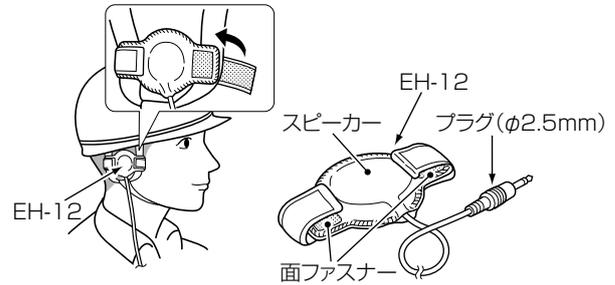
※HM-163A :無指向性マイク

(防水コネクター/金属取り付けクリップ)



■EH-12(ヘルメット取り付け型スピーカー)

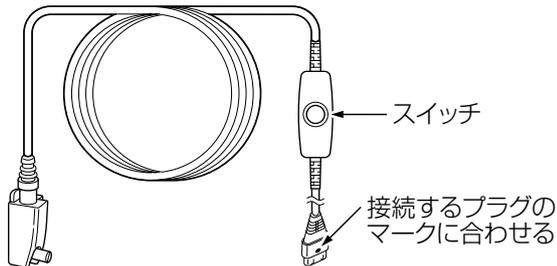
HS-92と組み合わせてお使いになれます。



■OPC-636/OPC-637

(マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル)

HS-88A、HS-92、HM-104、HM-104Aのいずれかでお使いになれます。



【OPC-636の場合】

赤色のスイッチは、ノンロック(未固定)式です。

※白色のスイッチが出ている(出)とき使用できます。

-  : 押しているあいだけ通話状態になる
-  : はなすと待ち受け状態になる

白色のスイッチは、ロック(固定)式です。

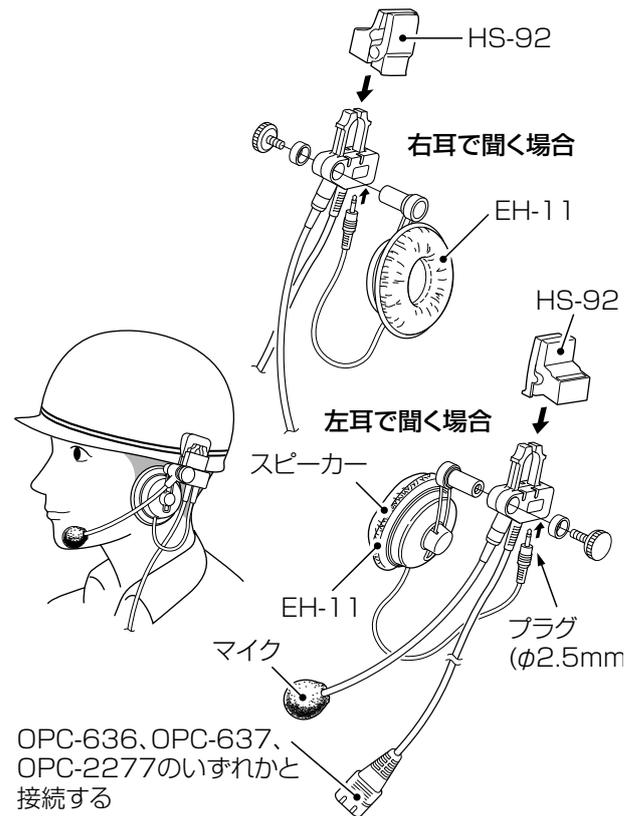
-  : 押し込む(入)と通話状態になる
-  : 出ている(出)と待ち受け状態になる

【OPC-637の場合】

黒色のスイッチは、ノンロック(未固定)式です。

-  : 押しているあいだけ通話状態になる
-  : はなすと待ち受け状態になる

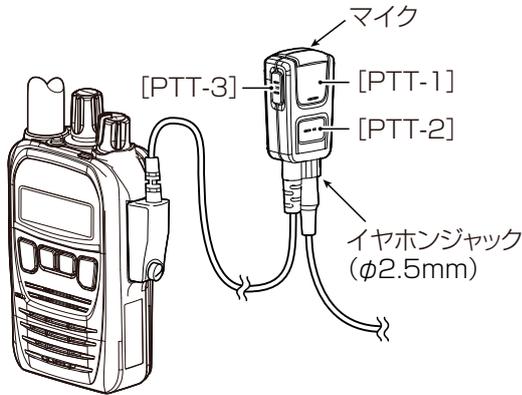
■HS-92(ヘルメット取り付け型ヘッドセット)とEH-11(イヤープッド型スピーカー)の組み立て



9 別売品について

■HM-238(サブチャンネルPTT機能対応タイピン型マイクロホン：近日発売予定)

EH-15、EH-15B、SP-26(近日発売予定)、SP-28のいずれかでお使いになれます。



ご注意

- ◎HM-238を接続するときは、必ず無線機の設定モードから、「外部電源設定」(P.8-3)を「AUTO」(初期設定)、または「5V」に設定してください。
※「GND」に設定されているときは、正しく動作しません。
- ◎HM-238を無線機に装着すると、無線機本体のスピーカーから音が出なくなります。
必ずHM-238にイヤホン(EH-15/EH-15B/SP-26/SP-28)を接続して、使用してください。

サブチャンネルPTT機能の設定によって、[PTT-1]/[PTT-2]/[PTT-3]を押したときの動作が異なります。
※サブチャンネルPTT機能については、6-1ページ～6-4ページをご覧ください。

【サブCH:「OFF」の場合】

- [PTT-1]/[PTT-2]/[PTT-3]
:無線機に表示されているメモリーチャンネルで送信する

【サブCH:「サイド1」の場合】

- [PTT-1] :無線機に表示されているメモリーチャンネルで送信する
- [PTT-2] :サブチャンネル1で送信する
- [PTT-3] :送信しない
※エラービープ(プッ)が鳴ります。

【サブCH:「サイド2」の場合】

- [PTT-1] :無線機に表示されているメモリーチャンネルで送信する
- [PTT-2] :送信しない
※エラービープ(プッ)が鳴ります。
- [PTT-3] :サブチャンネル1で送信する

【サブCH:「サイド1+2」の場合】

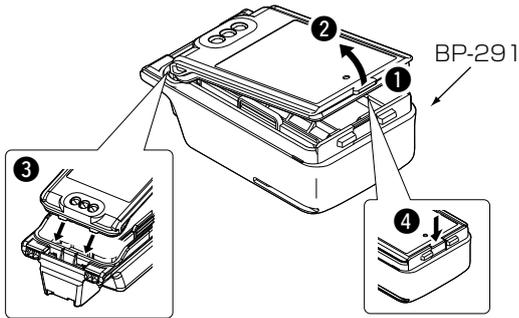
- [PTT-1] :無線機に表示されているメモリーチャンネルで送信する
- [PTT-2] :サブチャンネル1で送信する
- [PTT-3] :サブチャンネル2で送信する

9 別売品について

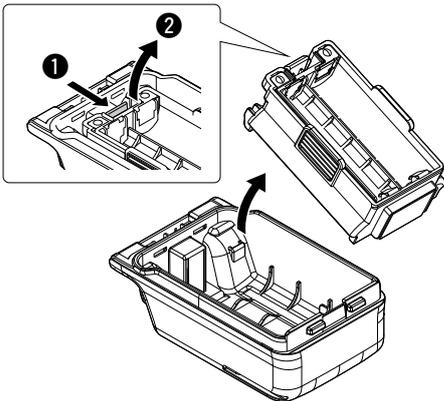
■BP-291 (アルカリ乾電池ケース)

◇アルカリ乾電池の入れかた

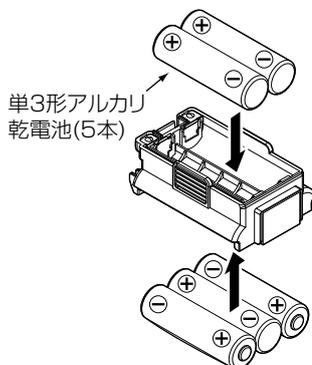
1. 乾電池ケースのフタを開けるときは、指を①の部分に掛けて、②の方向に引き上げます。
フタを閉じるときは、③→④の順番で閉じてください。
そのとき、ケース外部に防水用パッキンがはみ出さないように注意してください。



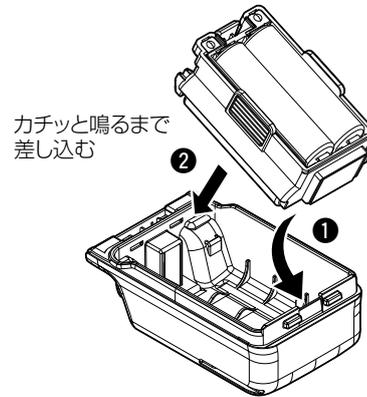
2. ①の部分を指で押しながら、②の方向に引き上げて取り出します。



3. 単3形アルカリ乾電池を5本入れます。
※+(プラス側)と-(マイナス側)を間違えないように入れてください。



4. ①の方向から先に入れ、「カチッ」と鳴るまで②の方向へ差し込みます。



◇アルカリ乾電池ケースを正しくご使用いただくために

△危険

アルカリ乾電池ケース(BP-291)は、単3形アルカリ乾電池専用です。
マンガン乾電池や単3形の充電式電池は使用しないでください。
破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、やけどの原因になります。

△注意

アルカリ乾電池ケースを使用しないときは、アルカリ乾電池ケースからアルカリ乾電池を取りはずして保管してください。

- ◎アルカリ電池ケースの電圧が本製品の動作範囲以下になると電源が切れます。
- ◎アルカリ電池ケースの電池端子部にゴミやホコリが付着すると正常に使用できないことがありますので、乾いたやわらかい布などで、電池端子部を定期的についでください。
- ◎アルカリ乾電池に記載されている注意事項も併せてお読みいただき、正しくご使用ください。
- ◎使用時間の目安は9-11ページの表をご覧ください。

9 別売品について

■ アルカリ乾電池ケース使用時の使用時間

名 称 定 格 項 目	BP-291			
電池の種類	単3形アルカリ乾電池			
製 品 名	IC-D70/IC-D70BT			
パワーセーブ	ON	OFF		
使用時間	送信出力	1W	約7時間	約5.5時間
		5W	約1時間	約40分
【条件】送信5、受信5、待ち受け90の割合で、繰り返し運用				

※使用条件やアルカリ乾電池の種類(製造元など)により、使用時間が大きく異なることがあります。

また、アルカリ乾電池の特性により、低温では使用時間が短くなります。

※出荷時、パワーセーブ機能は、「OFF」に設定されています。

パワーセーブ機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

10 保守について

■ 日常の保守と点検について

- ふだんは乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
洗剤や有機溶剤(シンナーやベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
また、バッテリーパック(BP-290/BP-294)やアルカリ電池ケース(BP-291)を取りはずした状態では、乾いたやわらかい布でふいてください。
- 無線機本体、充電器、バッテリーパック、アルカリ電池ケースの各端子(充電端子や電源端子)にゴミやホコリが付着すると、接触不良が原因で正常に動作しないことがあります。
各端子は、乾いた布などで定期的にふいてください。
- 使用される前に、電池の容量が十分残っているか、表示部の残量表示(P.2-2)を確認してください。
また、アルカリ電池ケース、またはバッテリーパックなどがしっかりと装着されているか点検してください。
- 定期的に決まった位置の相手局と通話して、通話状態に変化がないかを調べてください。
- 音量が最小に調整されていないか、電源/音量ツマミを回して、表示部の音量レベルを確認してください。

■ 防塵/防水性能維持の定期点検と保守について

本製品は、IP67を保証している無線機です。
この防塵/防水性能を維持するためにも、保証書に記載の保証期間経過後は、定期点検(年1回)の実施をおすすめします。
また、防塵/防水保証の延長なども含んだ保守サービス(有料)を準備しております。
※定期点検や保守サービスの詳細については、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

■ 故障かな?と思ったら

下記のような現象は故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは、弊社サポートセンター(P.10-2)までお問い合わせください。

現象	原因	処置	参照
電源が入らない	バッテリーパック(ケース)の接触不良	バッテリーパック、またはアルカリ電池ケースの端子を清掃する アルカリ電池ケースをご使用の場合は、乾電池の極性を間違えていないかを確認する	—
	バッテリーパック、または乾電池の消耗	バッテリーパックは充電し、乾電池は新しいものに入れ替える	—
	バッテリーパックをご使用の場合、保護回路が動作している	無線機からバッテリーパックを取りはずし、少し充電したあとにバッテリーパックをもう一度装着してから電源を入れる	—
スピーカーやイヤホンから音が聞こえない	音量が最小に設定されている	無線機本体の音量レベルを確認する	P.1-2
送信できない (プップ・・・が鳴る)	連続送信時間の制限を超えて送信している	1分以上待ってから、もう一度送信する	—
	充電モードになっている	無線機を充電器からはずして、送信する	P.7-5
通話できない	メモリーチャンネルが合っていない	相手と同じメモリーチャンネルに合わせる	P.3-1
	ユーザーコードの設定が正しくない	相手と同じユーザーコードを設定する	P.4-1
	相手局番号、またはグループ番号を間違えている	相手局番号、またはグループ番号を確認する	—
相手から応答がない	相手との距離がはなれすぎている	場所を移動してから通話してみる	—
キー操作ができない	ロック機能が動作している	ロック機能を解除する	P.7-1
受信音が聞こえない	ユーザーコードを設定している	相手のユーザーコードの設定を確認する	P.4-1
充電が完了しない	充電モードでの受信頻度が高すぎる	必要の無いときは無線機の電源を切った状態で充電する	P.9-4~ P.9-7

10 保守について

■アフターサービスについて

「■故障かな?と思ったら」(P.10-1)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

■保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

■保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●弊社製品のお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先:アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313(フリーダイヤル)

◆携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949(通話料がかかります)

受付(平日 9:00~17:00)

電子メール:support_center@icom.co.jp

アイコムホームページ:<http://www.icom.co.jp/>

■従来製品との相互使用について

従来製品と相互に使用するときは、下記の弊社製無線機をお使いください。(2018年8月現在)

※詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

◎IC-D50*(生産終了品)

◎IC-D60

◎IC-D5005*(生産終了品)

◎IC-D6005

◎IC-D6005N

★本製品の緊急呼び出し機能(エマージェンシー)を使用する場合は、相互使用できません。(生産終了品)

高品質がテーマです。

